

# 神様達とのパズドラ生活

雪亜

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

いきなり空から舞い降りた神様に拉致された?! たまにシリアスも有りのドタバタラブコメファンタジー。

## 目次

番外編。青春パズドラ学園！前編	1
プロローグ〜最初の異変〜	5
灼熱！炎の蛇女	9
光の守護神Ⅱ厄介神？	14
闇衣の銀刃	20
伝説を支えし使い手	27
隠させていた過去と闇の王妃	36
闇の欠片（前編）	48
闇の欠片（中編）	55
闇の欠片（後編）	62
再会〜憤慨？	68
未来の時女神と魔界の凶王子〜決戦前日〜	76
決戦〜愛を誓えし時〜	85
また新しい始まり。	92
新しき元通り	103
休息と安堵↓急速と対戦	111
意識の暴走	116

## 番外編。青春。パズドラ学園！前編

…突然だが、入学先をまちがえた。

それは普通の学園からとんでもない学園に変わっていたのだ。  
その学園の名前は…

『パズドラ学園』

瀧賀) …なんだこれ？

辺り一面を見渡しても人ならざる物がちらほらと見える。

瀧賀) …あー、うん、夢と幻想の狭間だ、そうに違いない。

レッツ現実逃避☆

をする暇もなく声をかけられた。

???) おい、お前は新入生だろ。

瀧賀) へ？

目の前に居たのは他の生徒とは違い白い学ランを着た人(?)だった。

???) 新入生は体育館だ、早めにしろよ。

瀧賀) あのー…貴方は？

一応名前を聞いてみる。

会長ルシファー) 生徒会長のルシファーだ、これからスピーチだから今名乗る必要は無かったな。

瀧賀) …生徒会長…か。

やはりただ者ではない、そう思う。

会長ルシファー) …ん？あれは…

???) やっほールッシー、今日も不機嫌そうな顔は変わらないね→→。  
生徒会長に話しかけるギャル？っぽい人が現れた。

会長ルシファー) ウルズ、通常の学生は今より十分早く登校だ、しかもながら携帯とは感心しないな。

先輩ウルズ) あはは、髪の設定に時間かかっちゃってね、許してくんさい☆

会長ルシファー) 二閃。

突然抜刀、だがそれを簡単に避ける。

先輩ウルズ）いやー、抜刀は早いねー。

会長ルシファー）：明けの明星を食らわすぞ。

学生ウルズ）調子に乗ってすみませんでした。

深々と頭を下げる、そこまで強力なのか？

会長ルシファー）うん？この気配は：

???) おう、そこは邪魔だぞ！

いきなり今度は番長っぽい巨人が現れた。

会長ルシファー）ギガンテス、その制服違反と頭髪、そして遅刻と

：貴様、この私をなめてるのか？

瀧賀）っ…

突然の凄いい殺気と覇気、本気を出すとどれくらい強いのだろうか…

番長ギガンテス）おお、怖い怖い。

会長ルシファー）：

キーンコーンカーンコーンとチャイムが鳴る、そうしたらさつきま

での気が消えた。

会長ルシファー）：命拾いしたな、新入生、体育館に案内してやる。

先輩ウルズ）うおう：ルツシーが優しいとは：珍しい事も有るもん

だね。

会長ルシファー）：切るぞ。

学生ウルズ）本当にすみませんでした、髪をショートにしないで下

さい。

深々と土下座。

会長ルシファー）さっさと行くぞ。

そして体育館、1―Aの集合場所に到着。

瀧賀）ここか：化け物じみた奴が多いな。

そして個性的な先生が多いことは突っ込まない。

???) これより、生徒会長からのスピーチが有ります。

そうアナウンズが入ると、先ほどのルシファーがマイクを構えてこ

う言い放した。

会長ルシファー）：私は生徒会長のルシファーだ、堅苦しい挨拶は

要らない、人間の生徒はパズルを極めろ！力を持つ者は己を極めろ！

…以上だ。

???) : ありがとうございます、続いては…

圧倒的なスピーチ(?)だった。

会長ルシファー) : あと、新入生の…瀧賀だったな、後で生徒会室に来い…話がある。

瀧賀) ?!!

いきなりの名指しだった、周りの人+αはご愁傷様と言わんばかりの目をしていた。

瀧賀) : 俺が何をしたって言うんだ…

全くの理不尽だった、そもそも何で俺の名前を知っているんだ？

その後、生徒会室前にて。

瀧賀) : はあ…入りたくねえ…

だが開けなければ殺られる可能性が…

瀧賀) : よし！失礼します！

威勢良く扉を開けると…

会長ルシファー) 遅いな、バツゲームだ。

上から白い粉が大量に降りかかる。

瀧賀) : なああああ!!?

突然の事態に対処出来ない、混乱の極みである。

会長ルシファー) まあ…お前に一つ提案があつてな。

瀧賀) 何ですか？それ。

会長ルシファー) : 生徒会に入り、この私に付いてこないか？

瀧賀) お断りします。

即答した、だって怖いんだもん。

会長ルシファー) : 何故だ？

瀧賀) 面倒な上に俺はまだ入学したばかりです、生徒会なんてやっている暇は無いです。

会長ルシファー) : 妹が居るんだっけな、お前。

瀧賀) !!

何故その事を…

会長ルシファー）現在入院中で意識も戻るか戻らないか……つて所だろう。

瀧賀）……あなたには関係ない、俺は一刻も早く亞栖の事を治したいんだ。

会長ルシファー）……治せるぞ、その病は。

瀧賀）何だと！

医者からはほとんど絶望的だと言われている……

会長ルシファー）嘘ではない、この学園は常識に囚われない、アマテラスオオカミに頼めば直ぐだろう。

瀧賀）……その条件の代わりに生徒会に……か？

会長ルシファー）話が早いな、どうする？

そんな事は決まっている。

瀧賀）その条件、乗った。

会長ルシファー）そうか、ならば襟首にこのバッチを付けろ。

投げられたバッチを受けとると、即座に付けた。

瀧賀）……これでいいんだな？

会長ルシファー）勿論だ……ようこそ、パズドラ学園『生徒会』に。

これから大変な事が有る……そう直感が告げていた。

瀧賀）そういえば、このチョークの粉？はどうすれば良いんだ？

会長ルシファー）男子用シャワー室が有るからそこで落としてこい、着替えは用意しておこう。

……後編に続く。

## プロローグ〜最初の異変〜

ダンジョン：そこは絶大な宝、最大の強敵が居る。

そんな事に憧れる人なんていくらでも居る、だけど…

俺だけは好きに成れなかった

神様Ⅱ空想

幽霊Ⅱ合成

怪物Ⅱ馬鹿かお前はの

つまらない奴だった。

だけど…今確信している、神様も幽霊も怪物も、この世界では当たり前。

「パズル&ドラゴンズ」と言う世界だから…

事の始まりは突然すぎた、いきなり空から女の子が落ちてきたと思えば、俺を誘拐して今この状態だ。

縄で縛られ↓目隠しをされ↓気が付いたときには大洞窟と言う現状だ、何か今更だけど…

瀧賀) なんじゃこりやあああああ！

緑色の草が生えたスライムっぽいやつが居るし、少しミニサイズのナイトも居る。

瀧賀) ここは天外魔境か…

認めざるを得なかった。

瀧賀) ん…あそこに居るのは…小さい少女?!

助けなければ…だが、俺は弱い。

近所の犬より弱い、高校生にもかかわらず弱い、だが…

瀧賀) うおああああ

ガシツ!と緑色の髪の少女をスライディングで確保。

後に退却したら、逆方向を進んでいたらしく、最後の階まで来てしまった。

赤いドラゴン) グガアアア

瀧賀) …テイラノザウルスカよ…

なんと…赤いテイラノザウルスが居た。



瀧賀) 逃げないと…

ボオンと嫌な音がする。

瀧賀) え…

先程までであった大岩がない…多分炎でやられたんだろう、やつは炎のテイラノザウルス、ふざけてる、こんなもん勝てるはずがない。

誰もいない…せめて、この少女だけでも…

???) 呂布、天下無双の崩撃!

呂布) ウオオオオ!

ドゴオンと大きな音を立てて闇の一撃が発生する。

???) ふうー…大丈夫?

瀧賀) え?この子は大丈夫だけど…

???) 違うくて、アナタよアナタ!

瀧賀) ええと…助けてくださってありがとうございます、この通り、元…気…

パタンと俺は倒れ、気を失った。

その後、目を覚ましたのは、ベッドの上だった、辺りを見渡すと…

緑髪の少女) すー…すー…

可愛い吐息を立てて寝ている、あの小さい少女だった。

???) どう?調子は?

瀧賀) あ…助けてくださってありがとうございます

トローコ) 別に良いよ、気にしなくて、私トローコ、趣味は呂布に稽古をつけてもらうこと、あなたは?

瀧賀) た…瀧賀…光芽瀧賀です、よろしく…

トローコ) ウンウン、よろしい

緑髪の少女) ううん…あ、マスター、おはようございます

瀧賀) ま…マスター?

トローコ) 彼女はドリアード、妖精の一種ね

ドリアード) マスター? どうしたんですか?

瀧賀) …何でラチられたんだ… この間の不良が宇宙人だったんだ…絶対そうだ…

今更だけど一人反省会&現実逃避。

トローコ) あのー、大丈夫？

ドリアード) マスター、本当にどうしたんですか？

瀧賀) ……この世界の説明をしてくれ…

トローコ) どうしたの？急に…

瀧賀) おそらく…俺はこの世界にとつては異世界人だ…

トローコ) ……はあ…何を言い出すかと思えば…馬鹿なの？死ぬの？

瀧賀) 帰らなきゃ…

???) それは無理だ

トローコ) あ、緑おでん、何の用？

オーデイン) 何度も言うが、俺はオーデインだ！

瀧賀) どうして無理だと言える

今のやり取りをスルーして聞いてみる。

オーデイン) ……お前が、アテナと力を合わせて奴を倒さなければいけないからだ

瀧賀) どうして…奴って誰だよ!?

ついでに戦うって…何か嫌な予感しかない。

オーデイン) ……闇に染まったダークゼウス、混沌のサタンが、同時に攻めてきている…だからお前の世界の神もこの戦いに参加している。

瀧賀) 意味が分からん

まさに魔法少女になるためのあの白い生物を連想させる。

オーデイン) ……つまり、うちの上司がお前の事を、間違えて拉致したんだ

瀧賀) ……マジで…?

オーデイン) ……マジだ

瀧賀) ……帰れる？

オーデイン) ……無理だ、完全に扉を閉じたからな

瀧賀) ……嘘だ…嘘だっ!

オーデイン) ……軽くこの世界の説明をするぞ、この世界のルールは一つ、パズルをすることだ

瀧賀) ……え？

オーデイン）何度も言わせるな、パズルをすれば、モンスターは攻撃するし、回復もする、それがこの世界「パズル&ドラゴン」略称パズドラだ

瀧賀）…強制的に？

俺は問うと…

オーデイン）生き延びたいならな、せいぜい気を付けろ、じゃあな  
そう言ったオーデインは空を駆けていった

瀧賀）…

トローコ）…はあ…厄介なことになっているね

ドリアード）マスター大丈夫？

瀧賀）…すぴー…すぴー…

トローコ）考えすぎて寝たか…ま、仕方ないか…私も寝よ

ドリアード）お休みなさい

トローコ）お休み…

そうして騒動の一日が過ぎた、だがこれは台風前の風…これ以上の騒動が始まるのだ…

コンテにゆーしますか？

〈はい・いい

え〈

## 灼熱！炎の蛇女

新しい朝が来た、希望…じゃないな、絶望の朝だ。  
このとうり、少し見慣れ始めた部屋で朝を迎えた。

瀧賀)…ふあ…

まだ眠い、そんな気持ちを抑えてベッドから起き…

ドリアード) すー…すー…

瀧賀)…

現状整理、ベッドで少女が寝てる

しかも俺の隣で。

瀧賀)…可愛い寝顔をして…ほら、起きろ

騒ぎもせず、冷静に対処した。

ドリアード) はっ…おはようございます…

瀧賀)…それより退いてくれないか？

ドリアード) に聞いたですと…

ドリアード) 私はマスターのお側に居たいんです、駄目ですか？

瀧賀)…それじゃ俺が動けないだろ？

ドリアード) そうでした、よいしょ…

その瞬間、ドリアードは宙に浮いた。

ドリアード) 何を驚いているんですか？私は妖精ですよ？

…完全に忘れていた、ドリアードは妖精の一種だと言う事を…

その瞬間、扉が開き、入って来たのは…

トコ) 瀧賀君、ダンジョンに行かない？

瀧賀)…え？

この人はナルカミ・トコさん、命の恩人だ。

トコ) とりあえず、肩慣らし程度なんだけど、最近何故か炎の蛇女が出るらしいからきをつけてね。

俺の有無は無しで押し付けられた。

ドリアード) マスター、ダンジョンですか？私も行きます！

瀧賀)…仕方ないよ、ホノリンとアワリンも呼んで来て。

ドリアード) 分かりました、行ってきます！

瀧賀) ああ、それまでに準備をしておく  
ドリアード) はい。

全く：元気になったもんだ。

それまでずっと勉強だったからな：二人の時女神からみっちり、  
地獄の勉強：パズルはこーだ、モンスターはあーだと：

瀧賀) あの二人は母親みたいだな：

ウエルダンデイ) 誰が母親ですか！

ウルド)：母親か：こいつの母親なら悪くはない、むしろ歓迎する  
わ。

対処するなら：問題発言したウルドから、その次ウエルダンデイだ  
な

瀧賀)：その心は

ウルド) 母親なら共に風呂に入ったって事に成るから、犯罪ではな  
い。

瀧賀) お前の性格が犯罪チックなんだよ！

ウルド) そう言う場合、別の時間に逃げる。

瀧賀) 最低だ。

神の力で犯罪を隠すとか：人間じゃねえ、神だけど。

ウルド) ふふ、恥ずかしがらずとも良い、私が手取り足取り：

瀧賀) 要らん、帰れ

ウエルダンデイ) それより！母親ってどういう事ですか！老けさせ  
ますよ。

瀧賀) すみません、調子に乗りました。

この間、マジで老けさせられた、怖い。

ウエルダンデイ) 全く：それより、ダンジョンに行く準備をするん  
じゃないの？

瀧賀) そうだった、完璧忘れていた。

こいつらの説明も

赤いのがウルド、性格は変態

緑がウエルダンデイ、性格は大真面目。

瀧賀) さて、魔石も持ったし、後は：

ドリアード) 呼んできました！

瀧賀) お疲れ、じゃあ行こうか

ドリアード) はい！

〈ウルカヌ火山〉

瀧賀) ふー…後は三階だな、大丈夫？

ドリアード) はあ…はあ…

瀧賀) ドリアード？どうし…

ふと顔を見ると、物凄く顔が青ざめてる。

瀧賀) ドリアード！

ドリアード) はは…やっぱり暑い所は駄目ですね…ごめんなさい。

瀧賀) すぐにリタイアして…

ドリアード) 嫌です…マスターの迷惑になるのは…死んでも嫌です

！

瀧賀) …速く片付けて帰ろう、帰って涼しむぞ、良いね

ドリアード) はい…！

〈ウルカヌ火山最深部〉

瀧賀) よし…ゴーレム！覚悟…あれ？居ない…

ドリアード) あれ見てください！

ドリアードの指差す方には、下半身が蛇の女の子が居た。

???) あれ？ドリアードちゃん、何でこんな所に？

ドリアード) エキドナさん…アナタこそ何でここに…

エキドナ) それがね…最近強い女のパズドラが私の仲間もろとも

吹き飛ばしちゃってね…そんな訳で憂さ晴らしよ。

この会話からして、この二人は顔見知りらしい、つて言うか憂さ晴

らして…

エキドナ) あー…また暴れたくなったわ、ドリアードちゃん、ゴメ

ンね♪

瀧賀) なっ…

サイレンの様なものが鳴り響く、恐らくこれは…

瀧賀) ボス戦…

エキドナ) 行くわよ！

瀧賀) くっ…水4、木3×2、炎3!

盤面をすぐに揃えて続行攻撃。

瀧賀) これでどうだ!

ゴーレム程度ならこれで仕留めれた、だが…

エキドナ) はい残り念々

当たらなかった、いや、当たってもそんなダメージを受けなかったであろう

エキドナ) じゃあこっちの番ね

瀧賀) くっ…

奴のスピードからしてダメージは2000以上…まずいな…うちのパーティーじゃワンパンだ…

瀧賀) 万事休すか…

その瞬間、目の前に黒い影が現れ、誰かと思ったら…

呂布) 小僧、下がってろ

瀧賀) 呂布さん!…と言う事は…

トーコ) 下がってなさい、ここから…私の仕事よ。

エキドナ) お前…あの時の…

トーコ) 悪いわね、あの時むしゃくしゃしてたのよ。

エキドナ) はああああ!

呂布) 遅い! 天下無双の崩撃!

エキドナ) きゃあ!

エキドナを的に闇の一撃が発生する

トーコ) とりあえず、息の根を止めちゃいませうか、これから大変そうだし…呂布…

呂布) ああ、ウオオオオ! はあっ!

瀧賀) 危ない!

その瞬間、目の前の黒い闇からエキドナをかばった。

呂布) …何の真似だ、小僧

瀧賀) やっぱり…殺すのは嫌だ

トーコ) じゃあどうするの? また命を狙われるかもしれないのに?  
瀧賀) …その時は、話し合おうと思います。

呂布) 話し合いで解決なんぞできるはずが…

瀧賀) できる、その気になればそれを受け止める方が相手のにも楽しんで

トーコ) …知らないよ？

瀧賀) はい…自分の責任なので。

トーコ) …わかったわ、後は好きにきなさい

瀧賀) …ありがとうございます

トーコ) 別に感謝される筋合いは無いわ、呂布、帰るわよ

呂布) ああ

そう言って二人は脱出していく

瀧賀) 俺たちも行くか…

ドリアード) エキドナさんはどうするの？

瀧賀) そうだな…よいしょ

両手で抱える様に抱き上げた。

ドリアード) …エキドナさん、良いなあ…

瀧賀) どうした？

ドリアード) いえっ！何でも有りま…せん…

瀧賀) ドリアード？

ふらふらとこちらに飛んでくる

ドリアード) すー…

瀧賀) …エネルギー切れか…仕方ない…

そう言って、二人を抱えて宿に帰った。



## 光の守護神Ⅱ厄介神？

…また、あの夢を見る。

いきなり担がれて、地上がどんどん遠くなる夢を…

その時見えたのは緑色の髪、白い服装、光っている槍。

そして…強く、優しく、揺るがない紅い瞳だった。

そしてこの朝、キツチンは修羅場だった。

ドリアード）きやあああ！卵が爆発した！

エキドナ）なにしてんの？卵は…あ、焦げちゃった…

トーコ）…あなた達こそ何してんのよ…

その場を静めたのは、トーコさんと…

ヴェルダンデイ）もう！フライパンと卵が駄目になったじゃない！

ヴェルダンデイ）だった。

エキドナ）だって、ダーリンに朝ごはん作ろうかなって

ドリアード）だから何度も言いますけど！マスターは私のマスター

何です！

瀧賀）朝から何なんだ…

ドリアード）マスター！

エキドナ）ダーリン！

エキドナの呼び方について説明しよう。

昨日、目を覚ましたエキドナに説明したところ…

抱きつかれる↓ドリアードが部屋に入って来る↓何だかんだで呼

び名がダーリンに。

瀧賀）まったく…おはよう、ヴェル。

ヴェルダンデイ）おはよう、瀧賀君

あれからヴェルダンデイと結構仲が深まった、呼び名がヴェルになっ

瀧賀）さて…ん？

誰かがこつちに来る…誰だ？

トーコ）ああ、エルメス君、何の用？

ヘルメス）だから僕はヘルメスだって…

トローコ) ゴメンゴメン、で、何の用？

ヘルメス) ええと…あつた、はいこれ、瀧賀君だっけ？君にだよ。

瀧賀) 俺に？

何か嫌な予感がする…恐る恐る封筒を開けると…

瀧賀) …何これ？

チケツトラしきものと手紙だ。

ヘルメス) …多分彼女だと思ふな、ちよつと貸して見て。

そう言つてヘルメスは手紙の文字を見たところ…

ヘルメス) …僕はわかる、この書き方は…うん、やっぱり彼女だ。

瀧賀) 彼女？

ヘルメス) うちの守護神様だよ、僕はまだ配達があるから。

瀧賀) …配達？神様が？

ヘルメス) 僕は商業の神様だからね、休んでなんか居られないんだ、

おつと、時間が無い、またね。

そう言い残し、ヘルメスは飛び去つた。

瀧賀) うーん…トローコさんは何か知つてる？

トローコ) …乙だわ、御愁傷様

瀧賀) …ヴェル…

ヴェルダンデイ) …ゴメンね

瀧賀) …ドリアード

ドリアード) …

何か裏切られた感じがする。

エキドナ) 私は付いていくわよ。

瀧賀) …は？

エキドナ) 多分、天界まで一っ飛びのチケツトだと思ふわよ。

瀧賀) …もしかして、俺を拉致した奴がこの手紙の主?!

トローコ) …あの人の人に関わると、後々面倒になるわよ、ああ恐ろしい

瀧賀) …付いて来てくれないと言う事ですか!?

トローコ) 悪いわね、命は大切にしたいのよ

瀧賀) …どうすれば良いのだろう…

トローコ) 今すぐ行つた方がいいわよ。

瀧賀) え？

トーコ) 彼女はユニコーンで突っ込んで来るから、死ぬわよ？

瀧賀) 頭可笑しいんじや無いのか?!

致死量100%だった。

そして天界についた頃、オーデインが飛んで来た。

オーデイン) 遅い！さっさと中に入れ！

瀧賀) え、ちよ…

ひよいと扉の中に放り込められたと思いきや…

オーデイン) ウオオオオオ！

ボタン！と扉を閉められた。

いや…グングニールを使わなくても…

???) 今日はお越し頂き、ありがとうございます。

ふとした瞬間、後ろから声を掛けられた。

この声の主はもしかして…

アテナ) こんにちはは、瀧賀さん。

瀧賀) お前は俺を拉致した奴！

アテナ) 拉致って…違います！連れていこうとしただけです！

瀧賀) それをこの世の中では拉致とか誘拐って言うんだよ！

アテナ) そうだったんですか…あつちの世界の昼になにやら面白い

刑事ドラマが有ったんですよ。

瀧賀) 昼ドラか！

こいつ、危険臭がぶんぶんする

アテナ) で、これからの話が本題です。

なにやら真剣な表情をしたら…

アテナ) お願いします！私と一緒に戦って下さい！

とんでもない頼み事だった。

瀧賀) : 戦うって、Sat anとかdarkZeusとか言うヤバ

いやつら？

アテナ) はい！オーデインから話を聞いていたんですね。

洒落にならない、早く逃げなければ…

あ：グンクニールで押さえられてたんだ：

アテナ）この部屋から出たければ私に協力してください。

瀧賀）困ったな：

アテナ）っ…！危ない！

瀧賀）え？

その瞬間、辺りは闇に包まれた。

・  
・  
・

あれ：死んだのか：俺。

でも光が見える：何故だろうか、とても：懐かしいし、暖かい…何か、昔の記憶が蘇る：

2年前

瀧賀（小））ねえ、お姉ちゃんは何をしているの？

アテナ）：光の心を持っている人を探しているの。

瀧賀（小））光？

アテナ）：うん、だけれど全然見つからないんだ。

瀧賀（小））：なら、僕がやる。

アテナ）え？

瀧賀（小））大きくなったら、お姉ちゃんを助けられる人になりたい！

アテナ）：約束だよ、いいね？

瀧賀（小））うん、約束

そうか…なら、約束は守んなきゃな…

「パネル展開！」

在

アテナ）：瀧賀さん…そんな…

サイクロンデビドラ）ヴルルル…

アテナ）こ…の…消え去ってしまえ！

（現

1

その時、俺は目を覚ました

瀧賀) オラアアア!

アテナ) な…瀧賀さん?! ヘルボールに飲み込まれたんじゃ…

瀧賀) 光の心を持つているからな、そう簡単にはやられんさ。

アテナ) …なら、やりますか!

瀧賀) ああ、パネル展開…光4×2攻撃

早速パネルで色を揃えていく。

アテナ) ハアアアア!

ズガンと雷らしき光がアテナと共に攻撃、だが…

瀧賀) まだ残っているな…流石にお前だけじゃな…

オーデイン) なら俺たちも手伝おう!

ヘルメス) あはは…結構疲れてるけど我慢しよう。

アテナ) …分かりました、瀧賀さん、よろしくお願いします。

瀧賀) ああ、やるか!

そして、ラストターン。

瀧賀) …水3×2、木3×2、光4×2!

ヘルメス) やあつ!

オーデイン) ウオオオオオ! グングニール!

アテナ) ハアアアア…アイギスの煌めき!

威力が更に増し、辺りは吹き飛んだ。

・  
・  
・

2時間後、漸くトーコさんの宿に帰れた。

トーコ) お帰り、どうだった?

瀧賀) …結局、話はまとまらず終いだった。

ドリアード) そうだったんですか…

エキドナ) 結局私は雑魚の足止めだったし…

瀧賀) …とりあえず昼寝したい、寝る。

トーコ) ま、色々大変だったろうし、休んでなさい、明日は大変そ

うだからね♪

瀧賀)  
：

結局、明日もダンジョンに行くことが決定したのであった

## 闇衣の銀刃

嗚呼、また平穏な朝を破る奴が足音を立てて近づいて来る…

まだ布団に入って居たいのに…

アテナ) 瀧賀さん、起きてください！朝ですよー！

瀧賀) …朝から元気だな…何かあった？

アテナ) 瀧賀さんを起こせました！

瀧賀) …とりあえず落ち着け。

アテナ) はい、分かりました

…たく…理解が良いのか悪いのか…

瀧賀) それより、天界に居なくて良いのか？

アテナ) はい、仕事はオーデインに任せてます。

瀧賀) うわ…

オーデインが最近隈がひどい訳がこれか…

瀧賀) お前、バチが当たるよ。

アテナ) その時は神の光を使います

瀧賀) お前もか！

ウルドと同じで神の力を悪用して居やがる

アテナ) もつとも、ウルドさんから聞いた話ですけど。

瀧賀) あいつが元凶か…

アテナ) あ、今日の朝食は私が作ったんです、早く行きましょう。

瀧賀) …

嫌な予感がする、別の意味で。

そしてキッチンにて。

アテナ) フンフフーン♪

瀧賀) …

ガチで豪華な料理が出てきた

トーコ) 久しぶりね、アテナの料理は。

呂布) 下らん…

そう言いつつもパンは四つ目に突入している、ツンデレかこいつ

は。

ヴェルダンデイ) どうやって作ってるのかしら…

(ウルド) 私は瀧賀が食べたい

瀧賀) 捕まれ、犯罪者。

ガチで犯罪者だ、こいつ

瀧賀) それより、俺の手持ちが来ないのだが…

ドリアード) …おはようございます…

瀧賀) うわ…どうした? その顔

ドリアード) ウルドさんからマスターの安眠を守ってました。

エキドナ) おはよー…

ドサツと俺にエキドナが身を乗せてきた

瀧賀) …当たってんぞ。

エキドナ) 当ててんのー…

トーコ) 朝からイチャイチャしないの。

瀧賀) してません。

ドリアード) …

瀧賀) どうした?

ドリアード) …zzzz

瀧賀) …ていつ!

ドリアードの脳天にチョップを入れてやった。

ドリアード) わひゃあ!

瀧賀) 眠いのは分かるが、今は朝食だ。

ドリアード) はーい…

瀧賀) エキドナもさっさと起きろ、俺の上で寝るな。

エキドナ) 分かってるよー…ふあくあ。

瀧賀) …もうちよい戦力強化したいな…

トーコ) いきなりどしたん?

瀧賀) いや…現在の俺の手持ちがドリアードとエキドナ、デカアワ

リン、デカホノリンと、相当弱いはず…どうにかならないかなって…

トーコ) …ガチャドラの所に行きましようか、あそこなら新しい手

持ちが増えるわよ



瀧賀) ガチャドラ? なんですかそれ。

トーコ) 行ってからのお楽しみ。

瀧賀) …?

それから、本当に奇妙な場所に連れて来られた。

瀧賀) …どこですか? ここ。

トーコ) 説明面倒だからやり方を教えるわ、腕を下に下げれば自動的に魔法石が五個このガチャドラに食われるわ、そしたら腹から卵が出てくる、OK?

瀧賀) い: yes

確かに説明が面倒そうだ。

瀧賀) …よし、おらっ!

パクつと石が食われて:

卵が出てきた。

しかも銀。

それを:

トーコ) ちっ…たかが銀か:

瀧賀) …?! 今性格豹変してませんでした?!

トーコ) ああ、ごめんごめん、いつもの癖でいらつと来るんだ。

瀧賀) …あの、一向に卵が割れる気配がないんですけど。

トーコ) びびらせちゃったかしら?

びびらせちゃったかしら? ってレベルじゃねえぞ、まるで鬼神の如くだったぞ。

トーコ) 出てこい、銀卵風情:

瀧賀) …あの、また引つ込んでしまったんすけど。

トーコ) 仕方ない、合成しますか

瀧賀) …やめてください、俺が説得します

とはいえ、どんな感じに話しかけ方が良いだろうか:

瀧賀) えーと…これから君のマスターになるのは俺だから、大丈夫だよ?

???) …

反応は薄いな…なら。

瀧賀) : それとも、こっちの「弱い奴は即合成」が座右の銘の人に  
する?

びくう、と素早く殻から出てきた、恐るべし。

瀧賀) : トーコさん、どんだけ恐れられているんですか?

トーコ) うーん : 相当大暴れした記憶は沢山有るけど?

こいつ鬼だな!

トーコ) 何か言った?

瀧賀) : いえ、何でも無いです。

殺されるかと思った : 恐れ、逆らえば死ぬ。

トーコ) さて、そのモンスターは : タナトスね、最初の段階だから  
性能は期待しない事ね。

瀧賀) : タナトスか、これからよろしくな。

タナトス) : よろ : く : ねが : す

瀧賀) : ええ?

タナトス) : し : お : いしま :

は? 塩い島? 余録願す? どゆこと?

タナトス) : こっ : 来て :

瀧賀) へ? 今「こっち来て」って言ったのか?

タナトス) : うん :

瀧賀) 分かった

そういつてそばに近寄ると :

タナトス) つ :

いきなりのタツクル

瀧賀) : 痛てえ!

頭の骨つぽい奴が直撃、後ろには鎌。

まさに前門の虎、後門の狼だ。

瀧賀) ちよっ : 痛い痛い痛い! 何故とり憑こうとする!

タナトス) つ : ごめんなさい : ずっと一人だったから : つい :

瀧賀) あ、そうだったのか : ごめんな

タナトス) : 私、基本的に声が小さくて : だから零距离からじゃな  
いと聞こえ無い :

確かに…あの距離だと少ししか聞こえないしな…どうしたら良いのだろうか？

トーコ) 面倒だからホワイトボードに書いたら？

瀧賀) そんな物どこに…

タナトス) 『ここに』

瀧賀) …何故!?

トーコ) ペンは有る？

タナトス) 『有る』

瀧賀) …

何故あつちの世界のアイテムがここに？

もしかして…

トーコ) アテナから貰うアイテムは結構使えるわね。

あのやろう…俺を帰す…資材調達か！

瀧賀) …駆逐してやる！

タナトス) 『どしたの?』

瀧賀) いや、この間神界に行ってきたんだけどさ…どうやら昔の俺が約束してたらしくて、今に至るって訳だ

タナトス) 『説明下手だね』

パリンと心が割れた

瀧賀) …心の壁が…破られた…

まさかここまで薄いとは…

トーコ) さてさて、呂布も待つてることだし、家に…下がって

瀧賀) え？

トーコ) 道理ですたびれてると思つたら…えーと…カスが六体つて

所かな？

瀧賀) …!

確かに、回りにはナイトシリーズやら何やらが居る。

瀧賀) どうするんですか？

トーコ) さつさと終わらせたいんだけど…私、モンスター相手に手を出すなんて言われてるの、テヘっ！

何かイラッと来た

トーコ) そんなわけでよろしく。

瀧賀) …え!? ちよ…

トーコ) さっさと終わらせた方が良いわよ、アテナが突っ込んで来ない内に。

瀧賀) っ!

背中に悪寒を感じた、アイツなら殺りかねん…

瀧賀) っ! パネル展開!

そそくさとパズルを組み立てる

瀧賀) …闇5×2

闇の全体攻撃なら行けるはず。

タナトス) 『任せて』

タナトスはそう言い放つと…

タナトス) …斬る。

タナトスの前から2体のカーバンクルが消えた、どうなってるんだ?

瀧賀) っと…そんな事気にしないで…って、一斉攻撃かよ!

タナトス) …闇の祈り…

その瞬間、タナトスの体力が0になるはずが耐えた。

トーコ) …闇属性の体力が2.5倍になる、それが彼女のLS(リー

ダースキル)よ。

瀧賀) …考えた事無かった、帰ったら相談してみよう。

トーコ) それよりさっさと殺ってしまつて、LSの事なら後で説明するから。

瀧賀) あ、はい、分かりました

さて、そうは言っても闇ドロップが足りないな…

瀧賀) タナトス、あと1ターン耐えられる?

タナトス) 『回復できれば』

瀧賀) 分かった、回復3×2。

タナトス) …闇…5個…

瀧賀) 良し、無事耐えてくれよ。

タナトス) 『分かってる』

そして敵側の攻撃

タナトスはギリギリ耐えたが、次が無い。

タナトス）：

瀧賀）大丈夫か？

タナトス）『とりあえず大丈夫だよ』

瀧賀）そうか、じゃあ：

その時、自分の真横を黒い影が横切った。

そして：

一瞬で残り三体のナイトと一体のトパリットカーバンクルが倒された。

トーコ）：はあ、あのジジイの差し金ね。

意味が解らなかった。

何故トーコさんが真剣な表情を見せるのか、あの黒い影が何故俺達を助けたのか、そして：

何故か胸騒ぎが収まらなかった：

その後、無事帰宅した時、ドリアードとエキドナがいじけてた。

瀧賀）どうしたんだ？

ドリアード）暇だったんです：

エキドナ）ダーリンの鬼、悪魔、鬼畜

瀧賀）お前ら：

とりあえず今日一日大変だった。

タナトスと出会い、謎の影が助け、今ここに居るアテナが何やらブツブツ言っている。

そして：今後が大変な有ることに気がついた。

瀧賀）これって、災難なフラグじゃね？

こうして、今日は疑問が残る1日だった：

## 伝説を支えし使い手

ここは…どこだ？

明らかにベッドの中とは違う。

暗黒の闇、零の世界等と言える場所で、人が住まう場所とは全く違う世界だった。

瀧賀) …怖い…

何故か恐ろしい気配がする…夢なら覚めてくれ…

「…お帰りなさい…我が闇の子よ…」

瀧賀) !!

ゾクリ、と言える気配、人ならざる闇、見たくもない夢。そこで又意識は、闇に包まれた。

瀧賀) ツ!

体を起こせば見慣れた世界だった。

俺の体の上に居るのはドリアド、寝る前の風景だった。

瀧賀) なんだ…夢か。

起きるには早い時間だったが、寝汗が酷いから水浴びに行くことにした。

そして井戸の前に来たら、思わぬ先客が居た

瀧賀) タナトス、お早う。

タナトス) 『お早う』

瀧賀) はは、朝は早いな。

タナトス) 『うん』

瀧賀) ちよつと退いてもらって良いか？

タナトス) 『分かった』

そして井戸からバケツいっぱい水を入れると。シャツを脱ぐ。もちろん体を拭くためだ。

タナトス) !!

瀧賀) どうした？

タナトス) 『何でも無いよ、続けて』

おもいつきり文字が震えていた、何故？

瀧賀) ああ、恥ずかしいかなら別の場所で：

ヘルメス) 瀧賀君！

瀧賀) ヘルメスさん？どうしたんですか？

ヘルメス) もう一人パズドラが現れたんだ、すぐ来て！

瀧賀) え、ちよつ：

上半身裸で空を飛ぶ、何故か悲しい。

そして神界、アテナが騒いでいた。

アテナ) 瀧賀さんの生裸！cameraは何処なんですか！

暴走(妄想) 神アテナに改名しやがれ、阿呆が。

オーデイン) 悪いな、ほら、替えの服だ。

瀧賀) どうも。

ヘルメス) アテナさん、早く進めていただかないと：

アテナ) はっ：：そうでした、申し訳ないです、瀧賀さん。

瀧賀) 俺限定かよっ！

ヘルメス) 僕たちの突っ込みを有難う。

瀧賀) いえいえ。

アテナ) ：：本題に入ります、この部屋に居るのはもう一人のパズドラです。

瀧賀) 軽く聞いただけだからな：：どんな奴だ？

アテナ) それが：：瀧賀さんの知り合いだと言うことです。

瀧賀) 俺の知り合い？誰だそれ？

アテナ) とりあえず、中に入ってください。

瀧賀) 分かった：

俺の知り合い：：誰だ？

扉を開けると、仲の良い後輩が居た

瀧賀) ：：お前だったのか、矢弥(やや)

矢弥) 先輩じゃないっすか、奇遇っすね

瀧賀) 何でお前がここに居る？

矢弥)それがつすね、そのオツサンに連れて来られたんすよ、ねえ、イザナギのオツサン。

イザナギ)オツサンって…まだまだ若く居たいんだけどな。

瀧賀)イザナギって…人間を物凄く生ませたシテイボーイの神！

イザナギ)言い方はおかしいが、神の力で産ませたのは事実だ、まあ家の妻には勝てなかったけどな。

やっぱりか、シテイボーイ。

矢弥)ねえ先輩、まだ覚えて居るつすか？あの日の夕方、私の告白を。

瀧賀)あ…

確か、この世界に来る前にそんな事言われたような気がする。

アテナ)な…なんですと!?

オーデイン)落ち着け。

オーデイン)グングニールで頭を叩く、アテナは悶絶。

オーデイン)続けて良いぞ。

瀧賀)…悪い、完璧に忘れて居た。

矢弥)なっ…

瀧賀)ついでに俺にはドリアドとエキドナ、それにタナトスと言う友人も居る。

アテナ)わ…私は…

瀧賀)厄介神兼暴走神アテナ。

アテナ)あんまりだああああ。

どこかに走り去る迷走神アテナ。

と思ったら戻って来た。

アテナ)ゼーハー…ゼーハー…私と…ゼー…付き合っ…は…

瀧賀)お断りします。

アテナ)せめて最後まで言わせてくださあああ…

又迷走するアテナ。

オーデイン)それが健明だ。

ヘルメス)僕も彼女は勘弁したいなあ…

瀧賀)で、どこに行くんですか？



オーデイン) 多分Wカーリーと呑みに行くだろう、あいつら付き合  
い良いからな。

瀧賀) ヘー…

矢弥) あのー、続けて良いっすか？

オーデイン) ああ、済まない。

矢弥) で、先輩…考え直してみませんか？

瀧賀) 今この状況では無理だ。

矢弥) じゃあ帰ったら…

瀧賀) …悪い。

これで諦めるだろと思ったら…

矢弥) …ません。

瀧賀) え？

矢弥) 諦めません！何十万、何百万回と告白を続けてやるっす！

瀧賀) 止めてくれ。

ガチでやるつもりだこいつ。

瀧賀) つたく…ヘルメスさん、帰りも頼みます。

ヘルメス) うん、任せて。

神界から帰宅後、トーコさんが焦っていた。

瀧賀) どうしたんですか？

トーコ) ちょうど良いところに！

瀧賀) ヘ？

トーコ) 行くわよ！

瀧賀) え、ちよつと…

襟を捕まれ、猛ダツシュ。

瀧賀) く…苦しい…

トーコ) オラアアアア！

そして現在地不明。

瀧賀) ゲホツ…ゴホツ…どうしたんですか？

トーコ) …すつきりしたー！

瀧賀) え、ちよつと…

トーコ) ん？どしたの？

瀧賀) いや、何で俺をこんなところに？

トローコ) …憂さ晴らしよ、悪いわね。

瀧賀) な…

トローコ) 最近暴れられなくて…いやー、すっきりしたわ、ありがと。

瀧賀) …

何か、今すぐ帰りたい、そんな気分だった。

そして帰宅。

呂布) よく生きてたな、そこは誉めてやる。

瀧賀) …

ドリアード) 良かった…マスターが生きてた…

エキドナ) ダーリン…

瀧賀) …なにもんだ、あの人は。

呂布) 破壊神。

ドリアード) 阿修羅。

エキドナ) 殺し屋X

トローコ) 何か言った？

ゾクリと殺気を感じた、恐ろしい。

トローコ) そうだ、このダンジョン行ってみない？ドラプラ大発生、ドリアードの進化に必要な素材はそれで集まるはずよ。

瀧賀) へえ…行ってみるか、良し行くぞ。

ドリアード) 行ってきまーす。

トローコ) 行ってらっしゃーい…呂布、貴方も感じたわよね、朝の時、とてつもない闇が彼の部屋から出ていたの。

呂布) ああ…あのジジイの所に行ったらどうだ？

トローコ) …そうよね、そうするしか…無いもんね…

瀧賀) …木3×2、闇4×1

ドリアード) やあ！

タナトス) !!

いつもどうりコンボを組み、敵を倒す。

瀧賀) さて：と、ドリアードは何に進化するんだ？

ドリアード) えと：アルラウネになります。

瀧賀) アララウネ？

ドリアード) アルラウネです！

瀧賀) 冗談だ。

ドリアード) もう：私、来るべき時になると、マスターと一緒に居られなくなるかもしれないんです。

瀧賀) どう言う事だ？

ドリアード) ：その時に話します。

瀧賀) ？

???) セーんーぱーいっ！

瀧賀) !!?

元祖やかましいやつが登場した。

瀧賀) 矢弥、何故ここに？

矢弥) ダンジョン履歴に先輩の名前が有ったので私も来ました。

こいつ：

ドリアード) マスター：その人誰ですか!?

瀧賀) ：腐れ縁

エキドナ) ダーリン、恋人じゃ無いよね？

瀧賀) 今朝ふったから大丈夫。

タナトス) 『(\*^へ^\*)』

いつの間に顔文字を覚えた、ついでにそれは何だ。

タナトス) 『(。ロ。；』

瀧賀) どうした、タナト：

アテナ) うおああああ！

瀧賀) (。ロ。；

アテナ) 瀧賀が突っ込んでくる、凄い勢いで。

瀧賀) うおおい！

アテナ) 瀧賀さん、付き合ってくださいあああ！

瀧賀) こおおとおおおわああああある！

タナトスから鎌を借りて投てき。

アテナ) 危ない!

瀧賀) ちっ…

避けたか…

瀧賀) 全く、今度は厄介神か。

アテナ) 私は光の守護神です!

瀧賀) 阿呆の暴走神じゃ無いのか?

タナトス) 『(、く、;)』

アテナ) 二人とも酷い!

こいつは何しに来たんだ?

瀧賀) で、何しに来たんだ?まさか罵られに来たんじゃないよな。

アテナ) そうでした、実はですね…

瀧賀) ん?

アテナ) …まずい事になりましたね。

タナトス) 『強力な力を持っている奴が来る、気をつけて』

瀧賀) 分かった。

そして粉塵、その中に居たのは…

アテナ) …冥界神ハーデス、何故ここに?

冥ハーデス) …

アテナ) そうですね…ならば、力づくでもその口を開かせてやりま

す、瀧賀さん、準備を…

矢弥) ここは私に任せてくださいよ。

瀧賀) …分かった、下がるぞ。

家のパーティーを下がらせ、矢弥が構える。

矢弥) パネルオープン!出でよアニマー!ヴリトラ!インドラ! ア

ポカリプス!竜王ゼローグ!

呼び掛けに応じてドラゴンが出現、どうやって?

矢弥) さて、やりますよ…

アテナ) 何故超上級龍を…

矢弥) 何か力を貸してやるって言ったので借りてます。

アテナ) …

矢弥) じゃあ行きますよ…闇4×2、光3×1!

パネルでドロップを組み、ハーデスに直撃

冥ハーデス)!!

矢弥) さて、アポカリプス、ラストジャッジメント!

アポカリプス) ゴオオオ…

ドロップが変化した、変換系の skill か?

矢弥) …光6×2!

インドラ) ヴオオオ!

アポカリプス) ゴオオオ!!

とてつもない雷が目の前に現れる。

冥ハーデス) …ふ…

『いずれ迎えに来る…待ってろ』

瀧賀) !!

その瞬間、意識は闇に包まれた。

意識が戻り、ベッドの上で寝ていた。

瀧賀) ここは…

トーコ) 気が付いた?

瀧賀) …俺、どうしたんですかね。

トーコ) さあね、よく分からないから、調べに行くよ。

瀧賀) え?

トーコ) よいしょつと…あまり心配かけさせるんじゃないわよー、進化した彼女の姿は可愛いんだから。

瀧賀) ちよつと…意味が…

???) マスター。

瀧賀) え?

そこに居たのは少し背が低い少女だった。

瀧賀)：

???) マスター？まだ体調が優れませんか？

瀧賀) いや、君は：

???) ああ、そうでした：

少女は正座し、三指ついて言い放った。

アルラウネ) ドリアード改め、アルラウネです、不束者ですが、これからもよろしく願います！

瀧賀)：

アルラウネ) マスター？

ああ：まだまだ頭痛の日々は続きそうだな：

瀧賀) トーコさん、夕飯残ってます？

トーコ) ええ、もちろん。

瀧賀)：ふふっ、アルラウネ。

アルラウネ) はい？

瀧賀) ま、これからも宜しくな。

アルラウネ) 分かりました！

こうして平凡な日々は続いていく、いつまでも続くと思っていた。  
だが、そうは行かなかつた、俺たちがバラバラになる日が来るまで  
は…

## 隠させていた過去と闇の王妃

また、暗く冷たい世界に居る。

右を見ても左を見ても真っ暗のまま、どうしようもない世界で、唯一有るのは…

更に濃い『闇』だった

闇にも種類は有っ

た

『業火』

『氷河』

『樹海』

『耀冥』

『暗黒』

だが、それぞれの闇は俺を拒まず、むしろ俺を包み込む。嫌なはずなのに…全てを受け入れられる…

本当に俺は『光』なのだろうか…

そして、また意識は闇に包まれた。

アルラウネ) マスター、朝ですよー、起きてくださいーい。

瀧賀) っ！

アルラウネ) マスター？

瀧賀) アルラウネか…おはよう、しかし何故お前が俺を起こしに来たんだ？

いつもならヴェルカタナトスが起こしに来るはずなのだが…

アルラウネ) トーコさんが『準備に時間がかかるから起こしに行っ

てくれない?』って言っていました。

瀧賀) そうか、ありがと。

アルラウネ) いえ、私はマスターのためのアルラウネです!

瀧賀) そうか、だからと言って無茶は駄目だぞ。

アルラウネ) 分かりました、あれ?何か忘れているような...

何か焦げ臭い臭いがする...まさか...

アルラウネ) ...あー!フライパンに火をかけっぱなしだった!

瀧賀) ...おい。

間の抜けた所は全くもって変わって無かった。

アルラウネ) えへへ...

瀧賀) 笑って居る場合か。

トーコさんとヴェルからは大目玉だった、朝食はヴィルが作る事になり、現在は反省の代わりに草刈り中だ。

瀧賀) 朝から草刈りか...

アルラウネ) ごめんなさいマスター...

瀧賀) いや、別にいいよ...

アルラウネ) ...はあ、何でもいいからマスターの役になりたいなあ...何か有りませんか?

瀧賀) ...何でも?

アルラウネ) はい!

瀧賀) じゃあ...もしも、俺が居なくなっても絶対取り乱すな、命令だぞ。

アルラウネ) 分かりました、でも...

瀧賀) でも?

アルラウネ) 絶対泣きます、それが嫌だったらそんな事しないで下さいね。

瀧賀) 分かった、何で俺もこんな事聞いたのかな...

夢の見すぎだなあ、と思っていると、ヴェルがこつちを見ながらムスツとしていた。

瀧賀) ...どうかした?



ヴェルダンデイ）夫婦漫才より朝食を優先して欲しいんだけど。  
瀧賀）夫婦漫才はさすがに無いぞ。

すかさずツツコミをいれる。  
ヴェルダンデイ）ふーん：

瀧賀）：最近、変な夢を見るんだが、どうしたらいいんだ？  
ヴェルダンデイ）夢って：はあ、何言ってるの。

瀧賀）それがだな、真つ暗闇の中に一人の女性が居たんだが、どうも違和感が有ってな：

ヴェルダンデイ）：！？  
瀧賀）どうかしたか？

ヴェルダンデイ）：もしかして、オレンジ色の髪に背中辺りに羽が生えてた？ 剣っぽいの。

瀧賀）しっているんですか？！  
ヴェルダンデイ）：神王妃ヘラ：奴はまだ生きていたのか：夢にまで出てきて！！

ヴェルがいつにない怒りの感情を見せる。

何故こんなに怒っているんだ？

瀧賀）ヴェ：  
ヴェルダンデイ）！！

ヴェルが俺を突き飛ばす、鬼の形相で。

アルラウネ）マスター！  
瀧賀）ヴェル：どうしたんだ：

ヴェル）：ごめん、少し一人にさせて：  
瀧賀）：？

そう言っつてヴェルは立ち去って行く。  
瀧賀）本当に何が：

トーコ）それは今から説明するわ。  
瀧賀）トーコさん：

トーコ）支度も終わつたし、朝食を食べたいんだけど。  
瀧賀）はい、分かりました。

そして朝食を食べ終えた頃、トーコさんは話始めた。

トーコ) 順を追って説明するわ、ヴェルダンデイにはウルドの他に  
もう一人親友が居たの。

瀧賀) ウルドの他にもう一人？

トーコ) そう、その名前はスクルド、もう一人の時女神ね。

瀧賀) ……！

トーコ) ……察しが良いわね、神王妃ヘラは…スクルドを殺したの。

瀧賀) ……

トーコ) しかもヴェルダンデイを守って神王妃ヘラと消え去ったス  
クルドは時の流れを変え、光になった。

瀧賀) だからあそこまで…

トーコ) そ、大切な友達が目の前で殺されたんだもん、仕方ないよ  
ね。

瀧賀) ……

衝撃的過ぎて頭が回らない、ヴェルダンデイを守って消えたのはス  
クルド、しかも庇って死んだわけだから…

瀧賀) ……

トーコ) ……さ！そろそろ出発しますか！

瀧賀) え？どこに行くんですか？

トーコ) あ…言い忘れていたわ……これからファガンと言うじいさん  
の所に行くから。

瀧賀) 唐突過ぎる！

アルラウネ) マスターの準備は既にしておりました！

トーコ) ナイスよ、アルラウネちゃん。

瀧賀) ……

また、何がなんやらで…頭痛い。

トーコ) さて、アルラウネちゃんをボックスに入れておいてね、迎  
えが来るから。

瀧賀) あ、はい。

ボックス機能がやっと使えるようになった、性質、法則は不明らし  
い。

瀧賀) そもそも迎えて…

アテナ) ごめんくださいーい!

瀧賀) あ…

嗚呼、これから地獄の旅が始まるのか…

アテナ) さ、私の馬車に乗って下さい。

トーコ) 悪いわね。

アテナ) いえいえ、さあ、飛ばしますよ!

アテナが手綱を握ったら…

ユニコーン) !!

そしていきなりの急発進、凄いGが伝わる。

だがそんな事も気にせずトーコさんは…

トーコ) かー…

思いつきり爆睡していた。

じゃあ、俺も寝ようか…な…

闇の中で黒い雨が降る。

また夢だと思いつつも、その場から離れなかった、どうせ夢だしって思っていたら、オレンジ色の髪をした女性が口を開いた。

神王妃ヘラ) ふふ…いつでも待っているけど…そろそろ迎えに行くから。

瀧賀) !!

そう言っただけ消えた、雨に打たれながら考える。

何故こんな夢を見るのか。

何故あの女性が出現するのか。

何故もうすぐ『迎えに行くから』と言ったのか。

夢の絵空事なのに、こんなに考えて居るのだろうか…非力な俺には全くわからない…

そして意識は闇に包まれた。

アテナ) 瀧賀さーん、起きてください。

瀧賀) …!!

アテナ) やっと起きましたか…うなされてましたよ。

瀧賀) 悪い。

アテナ) とりあえず今日はここで野宿するらしいので、一応起こしました。

瀧賀) !!?

今…何時だ?!

アテナ) あーあ…夕陽が沈んで行きますね…

瀧賀) …今何時?

アテナ) そうですね…大体は7時少し前ですかね。

瀧賀) うっわ…

まさか朝から夜まで寝ているとは…

瀧賀) …悪かった、このとうり。

アテナ) 別に大丈夫ですつて、ユニコーン達が頑張ってくれましたから。

???) セーンパイ…

謎の声がある、まさかとは思うが、まさか…

矢弥) セーんぱーい!

矢弥が表れた!

コマンド

◇戦う

◇防御

◇パズル

◆逃げる

◇作戦

瀧賀) ツ!

即行逃げた。

矢弥) 甘いつすよ、センパイ!

しかし、回り込まれた!

瀧賀) ならば!

矢弥) センパイは自分が弱い事忘れてました?

瀧賀) あ…

人生＼( ^ o ^ ) / オワタ

フルカウンターが来ると思ってた目をつむり、覚悟した瞬間、時は静止した。

トコ) 全く、なにしてんのよ。

瀧賀) トコさん!

トコ) さつきからアポカリプスが飛んでると思ったら…やっぱりあなただったのね。

まさか矢弥のフルカウンターをガードするとは…

矢弥のフルカウンターは町の不良を一掃する威力は有ったはずだが…まさか、トコさんは…

トコ) あら、殺る気かしら?

矢弥) !!

サツと矢弥が離れる、戦闘体勢だ。

瀧賀) やば…

距離を置こうとするが、もう遅かった。

トコ) レデイ?

矢弥) ゴー!!

いきなりの戦闘、共に衝撃波が響く。

こいつら人間ですか?!

ストリートでファイターなんですけど!

トコ) 殺るじゃない!

矢弥) そっちこそ!

またしても衝撃波、どうしたものか…

アテナ) 野宿の準備は終わりましたけ…

瀧賀) アテナ! この場をどうか…

アテナ) …さ、こちらに来てください。

瀧賀) !!?

訳がわからない、何故アテナが青ざめているのか…

アテナ) : 実はかくしていたことがあるんですよ。

瀧賀) え？

アテナ) トーコさんはですね…破壊神シヴァと人間のハーフですよ。

瀧賀) は?!!

シヴァ) : 結構有名な神のはずなのだが…

アテナ) 彼女の力はシヴァ譲りですから、とてつもない力を秘めているんですよ。

瀧賀) :

なにこの状況。

ヴェルダン) の過去の過去は酷いわ、トーコさんは神譲りの力を秘めているわで…

瀧賀) はあ…タナトス、少しお喋りをしよう？

タナトス) : うん。

さあ、現実逃避の時間だ。

そして翌朝、ユニコーンに挨拶をし、顔を洗い、トーコさんは朝食を作っている。

エキドナ) 火力はこれくらいで良い？

トーコ) ええ。

エキドナ) が炎を出し、それで調理している、まさにカオス。

瀧賀) : 昨日は見なかったな…

トーコ) 何か言った？

瀧賀) いえ、何でも。

深くは考えずに居よう、しかし…気になるな、何か胸騒ぎが収まらない。

そんなこんなで目的地に到着したらしい、場所は『聖獣達の楽園』と  
言うところらしい。

瀧賀) 結構静かだな…

トーコ) そりゃあね、聖なる場所だから…あら？

瀧賀) …？

トーコ) 何の真似かしら？麒麟…サクヤさん。

瞬時、目の前に誰かが現れる。

サクヤ) …闇の者を通す訳にはいきません、トーコさんは下がって  
下さい。

瀧賀) !!

闇) 俺が？そんなはずは…

サクヤ) …下がる気は無いなら、倒させて頂きます、四神乱舞！

ハンマーっぽい物を振り回し、技の体勢になった、これは不味いよ  
うな…

サクヤ) 五秒だけ待ちます、その間に帰る事を決めれば見逃しま  
しょう。

トーコ) 帰るわけ無いじゃない、あんたのじいさんにちゃんと手紙  
を送ってんのよ？

サクヤ) そんな嘘、私には通じませんよ。

相当頭が固いようだ、どうしたものか…

サクヤ) …五秒経ちました、では、戦闘にしましょう。

瀧賀) く…

その時、黒い影が、俺の隣を横切った。

瀧賀) !!

この気配…タナトスの時の…

サクヤ) …ハク、何の用ですか？

ハク) …喋る必要は無いよ、この人に手出しするようなら…本気出  
す。

ハク) …それがこの子の名前か…

サクヤ) …分かりました、なら私も本気を出しましょう！

瀧賀) !!

凄い力だ、目が眩んで来る。

ハク) : パズル、準備して。

瀧賀) あ、うん、分かった : パネルオープン!

目の前に盤面が現れる、いつも思うけど、どうなってんのこれ?

瀧賀) よし : ん? 即行スキルが使えるぞ? 使って良いか?

ハク) レイランと模擬戦闘したから :

瀧賀) よし : 西方七星陣!!

ドロップが変化した、ならば。

瀧賀) : 炎4×1、水4×1、闇6×2!

ハク) はあああ : 行くよ。

ふっ : とハクの姿が消えたと思ったら :

サクヤ) く : 素早く先制攻撃、それが貴女の得意分野でしたね。

ハク) : 終わらないよ。

又消えて、高速攻撃、あちらの方は動けずに居る。

エキドナ) 私のスキル、分かった?

瀧賀) エキドナ、お前の仕業か。

エキドナ) 私のスキルは『威嚇』だからね。

瀧賀) 重宝させてもらってるぞ。

ハク) つぎ。

瀧賀) あ、はい、すみません。

何で謝って居るんだ?

瀧賀) とりあえず : 闇4×1、炎3×2、水3×1

必要最低限にドロップを揃える、矢弥は :

矢弥) センパイ、頑張ってくださいー!

なんと言う他人任せ、少しは手伝えよ :

瀧賀) よし、後一步!

サクヤ) く : やられる訳には : いきません!

瀧賀) なっ :

サクヤ) 四神乱舞!

瀧賀) やば :

???) 何をやっとるんだ、サクヤ。



サクヤ)！

ハク)：おじいちゃん、何のよう？

凄い筋肉を持ったじいさんが表れた、この人が：

トーコ) 遅いわよ、ファガン。

ファガン) はっはっは、いつもキツいな、阿修羅の落とし子。

ハク)：早く行こう。

ファガン) そうだな、立ち話も何だ、家に：

???) ふふ：そうはさせないわ。

ファガン) !?

トーコ)：とうとう表れたわね、神王妃へら。

瀧賀) !!?

こいつは：夢の中に現れる奴：！

神王妃へら) こんにちは、瀧賀君♪

瀧賀) あ：あ：

呼吸が出来ない、怖い、怖い。

神王妃へら) さて：イース、居る？

へら・イース) はいはい、作戦どうりね。

アテナ) ここは通せんよ。

アテナが俺の前に現れる、下がらせなければ：

瀧賀) アテナ：逃げ：

神王妃へら) イース、やるわよ：

へら・イース)：フリーズコフィン。

神王妃へら) グラビトンボム。

アテナ) !!

刹那、爆発が起こる。

辺りは吹き飛ばされ、渦巻く冷氣。

アテナ) がはっ：

ファガン) ぐう：

瀧賀) アテナ！

どうやら二人が光の防壁を作ったのだろう、二人はボロボロだ。

神王妃へら) やっぱりその二人が防いだのね。

ヘラ・イース）もう一回？

神王妃ヘラ）…瀧賀君、取引をする？

瀧賀）何の…取引をする？

神王妃ヘラ）瀧賀君が大人しくついてこれば大人しく引き下がる、  
そして停戦をする、これでどう？

アルラウネ）ふざけないで…

神王妃ヘラ）…雑魚は黙ってろ。

アルラウネ）ッ！

アルラウネが固まる、なんとと言う気迫…

神王妃ヘラ）…どうするの？

瀧賀）…分かった、大人しく付いていこう。

アテナ）瀧賀さん！

瀧賀）悪いな、これは俺の意思だ。

神王妃ヘラ）じゃあね、イース、行くわよ。

ヘラ・イース）分かっているわよ。

アルラウネ）マスター…

瀧賀）…じゃあまたな。

アルラウネ）!!

そして、闇の中に入り、意識を薄くしていく俺は、最後に見えたの  
は…

アルラウネの涙だった

## 闇の欠片（前編）

く闇の世界一日目く

瀧賀）ここが…闇の世界…

神王妃へラ）そ、取り合えずアスタロトちゃんの所に行きましようか。

瀧賀）アスタロト？

神王妃へラ）魔神アスタロト、主属性は木ね。

瀧賀）アスタロト…筋肉ムツキムキのオツサンじゃ無いことを祈る。

神王妃へラ）大丈夫よ、小さい少女にぬいぐるみが付いているだけだから。

瀧賀）？

そして普通な和風民家に到着。

瀧賀）…は?!

神王妃へラ）なにしてんの？

瀧賀）あ、すみません、お邪魔しまーす…

おそろおそろ下足を脱ぎ、靴を整え、神王妃へラに付いていく。

神王妃へラ）アスタロトちゃん、入居者が来たわよ！

返事がない、留守なのだろうか？

神王妃へラ）…多分寝てるわね、起こしに行くわよ。

瀧賀）え？

神王妃へラ）よく寝てるのよ、魔力の消費が激しいから仕方ないけどね。

瀧賀）…一つ良いですか？

神王妃へラ）何かしら？

瀧賀）何故このような民家なのですか？

神王妃へラ）アスタロトちゃんの希望よ、城より落ち着くらしいから。

瀧賀）…ここか。

神王妃へラ）よし…アスタロトちゃん！起きなさい！

母親みたいに突撃、そして布団を引つ張った。

アスタロト) うーん…あと五分…いや、一時間。

神王妃へラ) 新しい入居者が来たわよ、挨拶ぐらいしなきゃ。

アスタロト) 分かったよー…

瀧賀) 光芽瀧賀だ、よろし…く…

アスタロト) ?、どうしたの?

瀧賀) そんな…榎栖(あす)…何で…

神王妃へラ) どうしたの?

瀧賀) つ…!

瞬時に距離をとる、つい構えてしまった。

アスタロト) …悪いこと…しちゃった?

神王妃へラ) 取り合えず、事情を説明しなさい。

そして居間、テーブルを挟んで話をする。

神王妃へラ) さて、どういう事かちゃんと説明しなさい。

瀧賀) …これを見てください。

写真入りペンダントをへラに差し出す。

神王妃へラ) …髪色以外はアスタロトちゃんそっくりね、どういう

事?

瀧賀) 俺の妹です、自慢の…妹だったんです。

神王妃へラ) だった?

瀧賀) …三年前、9月…難病で死んでしまったんです…俺の目の前

で…苦しみながら…

神王妃へラ) …ちよつと待って、ソエルに連絡するわ。

瀧賀) え…?

意味が分からない…何故連絡するのか…

神王妃へラ) …そう、分かったわ。

瀧賀) どうしたんですか?

神王妃へラ) …新しいアスタロトちゃんの魂が発生したのは、ちよ

うど三年前、9月ね。

瀧賀) !!

神王妃へラ) それから言えるのは、あなたの妹…榎栖ちゃんの可能

性が高いわね。

榎栖の魂が：アスタロトに：

神王妃ヘラ）その時にコシユマルも生まれた：それほど生前、大切に持って居たのでしょね。

ずつと入院していた榎栖の為に作ってやった猫のぬいぐるみ：榎栖、お前はどこまで俺を泣かせたら気が済むんだ：？

???) おい、そのの：えーと、なんだ、男、一つ良いか？

瀧賀)：

問いかけ方法は突っ込み所満載だ。

神王妃ヘラ) コシユマル、何の用？

コシユマル)：あんたが、生前のご主人の兄貴だったのか？

ピンクの人形は問いかける、しかも宙に浮いている。

瀧賀)：多分な。

コシユマル)：そうか、悪いが、ご主人は何も知らねえ：今居る状態じゃ、俺も大して戦えねえけどな。

瀧賀) どう言うことだ？

コシユマル)：魔力を貸してるのさ、それじゃなきや：ご主人は死ぬか一生人形だ。

瀧賀)：そうか、榎栖：もといアスタロトをちゃんと宜しくな。

コシユマル)：ご主人はほとんど一人だったから、ちょうど良い頃に来てくれたな、あんたもご主人の支えになってくれよ『兄弟』

：兄弟：か、榎栖、お前がお前じゃ無くても、俺は離れないからな

：

神王妃ヘラ) じゃ、そろそろ帰るわね。

瀧賀) 明日は：サタンに会いに行くのか？

神王妃ヘラ) そ、ついでにイースとかにも会いに行くわよ。

瀧賀) 分かりました、では。

神王妃ヘラ) じゃあね、瀧賀君♪

ヘラが飛び去る、あの羽でよく飛べるな：

コシユマル) さて：早速だが、一つ頼みがある。

瀧賀) 何だ。

コシユマル) ご主人に…料理を教えてやってくれ。

瀧賀) …え？

コシユマル) ご主人はずっとケーキを作って居るが、全部いまいちでな…ご主人も、『目的の味と違う』って言ってるな…

瀧賀) …

確か…極栖の為にケーキを作ってやってたんだっけ…懐かしいな…極栖の為にずっと勉強してたんだよな。

瀧賀) 分かった、その前に…

コシユマル) …ふむふむ、分かったぜ、直ぐに準備する。

瀧賀) ありがと、助かる。

コシユマル) へへっ…固いことは言うなよ、兄弟。

瀧賀) ああ…作戦開始だ。

その頃、神界では…

アテナ) どう言うことですか！瀧賀さんの救出を止めろって…

???) …今、確かに戦争は止まっている…戦場で死者が出るよりも、たかが一人の命で止まっているのだ…その歯止めが無くなればまた戦争が起こる…

アテナ) それでも！

???) 2) 見苦しいですよ、アテナ。

アテナ) くっ…

???) 3) そもそも、光のパズドラはもう一人居る、奴よりも優秀な矢弥がね。

アテナ) …分かりました、この件から…手を…引きます…

???) …退室して結構です。

アテナ) …はい…

アテナ) ……瀧賀さんの……馬鹿…

オーデイン) : ま、奴が決めたことだ、変えられないさ。

ヘルメス) ほら元氣出して、瀧賀君がここに居たら何て言うと思う？

アテナ) : 『厄介神が、不幸神になってんじやねーよ、アホ』って  
言つてそうです…

オーデイン) なら、やることはただ一つだ。

ヘルメス) そう、瀧賀君が、『帰って来た時に、笑って迎えられる』為に、涙は捨てなきや。

アテナ) : そうですよ…迷惑を掛けましたね、二人とも。

オーデイン) アホか、俺達の上司なんだから胸張つてろ。

ヘルメス) : そういえば、二人ともファガンの情報を持って無い？

アテナ) え？何故彼なのですか？

ヘルメス) : 彼は、何か昔から裏が有りそうなんだ…

オーデイン) : 何故そう思う。

ヘルメス) だつて闇の方だつてこつちから攻めてもないのに打撃を受けて、こつちだつて打撃を受けている…しかもベルセポネから聞いた話によると…闇の方は進軍は大してしていない…矛盾してるよね。

アテナ) 確かに…ツ！何者ですか!?

ヴァンパイアロード) 失礼、私はヴァンパイアロードという者です。

アテナ) どうやって侵入を…

ヴァンパイアロード) それより話を聞いてください、最近…ファガンが我が領土で不審な動きをしているとの事が民から報告が有りました。

アテナ) !!

オーデイン) : 当たりだな、恐らくは絶冥の黄龍になるための最終段階だろう、闇の宝玉…一つはハクが持ち、もう一つは…

ヴァンパイアロード) もう一つは…っ！あぶない！

アテナ) !!

カリン) : 避けられちったか…まーいいや、さっさと倒しちまお。

ヴァンパイアロード) 逃げ…て…瀧賀さんの…命が…

アテナ) !!、どう言うことですか！

ヴァンパイアロード) 残りの…宝玉は…  
カリン) うるさい! 死んじや…っ…  
アテナ) …そうですか、なら…エンジェリット達、来なさい。  
オーデイン) …まさか…宝玉を使えば…  
アテナ) …究極進化。  
ヘルメス) …っ

アスタロト) コシユマルひーまー、遊ぼうよー。

コシユマル) 十分遊んだだろうがご主人!

瀧賀) …ちよつと良いか?

アスタロト) …なあに?

瀧賀) さつきは驚いてごめんなさい。

アスタロト) え?

頭を下げて、謝る。

瀧賀) そのお詫びと言つては何だけど…ケーキ焼いたから、食べない?  
い?

アスタロト) …

アスタロトが立ち上がり、キッチンに向かって歩く、もちろんケーキに向かつて。

アスタロト) …

パクツと一口、含んだら…

アスタロト) …この味…どうやって…

瀧賀) 何となく。

もちろん嘘だ、昔から作っている様に仕立て上げたから…

アスタロト) …っ

両手でケーキを掴み、口いっぱいケーキを頬張る。



コシユマル) ご主人、行儀悪いぞ！

アスタロト) うるひやい、にやんだか…懐かしいの…

アスタロトが泣いている…昔の記憶はないはずんだけどな…

コシユマル) …なあ兄弟、一つ良いか？

瀧賀) 何だ？

コシユマル) 何である時『気を引き付けていてくれ』って頼んだんだ？

瀧賀) それは…

ケーキを頬張るアスタロトを見ながら、こうつぶやいた。

瀧賀) 何事も…サプライズだろ？

コシユマル) …ちげえねえや、さて、これからどうする？

瀧賀) 寝る、闇の世界の住人じゃないからな。

コシユマル) そっか、良い夢見ろよ、兄弟。

瀧賀) おやすみ、守ってくれよ。

コシユマル) 任せとけて。

こうして闇の世界の一日が過ぎた、アスタロトの魂が妹だって事を知ったから、それだけで俺は…

幸せ物だ……………

## 闇の欠片（中編）

く闇の世界二日目く

瀧賀）…なんだ…重いぞ…

朝、妙な重みを感じ起床。

瀧賀）…?!

俺の上に妙なピンク色の悪魔が居た、ふっさふさだった。

瀧賀）もしかして…コシユマル?!

魔公コシユマル）ん？兄弟…おはようだぜ。

瀧賀）お前っ…その姿どうしたんだ!?

魔公コシユマル）あー…お前の隣にそのぬいぐるみあるだろ？それご主人だ。

瀧賀）…は?!

魔公コシユマル）ご主人のセーブモードだ、これは俺の本来の姿だ。マジか…意外と格好いいぞ、こいつ。

魔公コシユマル）さて、そろそろご主人が起きる時間だ、元に戻るわ。

そう言っつて徐々に姿を変えるコシユマル、どうなってんの？これ。

コシユマル）ふー…さて、起きろご主人、朝だ。

結局起こすんかい！と突っ込みを入れたかったが、アスタロトの事を考えると突っ込めなかった。

アスタロト）ふあ…おはよー…

コシユマル）おう、顔洗って来な。

アスタロト）あ、『お兄ちゃん』おはよう。

瀧賀）!!

その言葉は、どんな言葉よりも重く、心に突き刺さる。

瀧賀）…ああ、おはよう。

泣きたい心を抑え、笑顔で挨拶をする。

コシユマル）さ、早く顔を洗いに行きな。

アスタロト）うん。

アスタロトはベッドから降り、ぱたぱたと洗面所に歩いていく。

コシユマル) …ご主人に悪気はねえんだ、許してやってくれ。

瀧賀) …

許すもなにも、また俺の事を『兄』と認識してくれる事が何よりも嬉しいだけだ。

瀧賀) …さて、そろそろ支度しなきゃな…

コシユマル) 朝飯はどうするんだ？

瀧賀) あ…

そういえば最近何も食ってねえや…

瀧賀) …我慢しよ。

コシユマル) そ、そうか…

コシユマルの顔がひきつっている、こちらの現状を理解したようだ。

アスタロト) トースト焼けたよ！

一瞬にして俺の選択は無意味になった。

そして朝食後、アスタロトと共に城に向かった。

瀧賀) それにしてもでかいな…

城は想像してたものよりも果てしなく大きく、広かった。

アスタロト) サタン様がいつでも出られるようになってるらしいよ。

瀧賀) へー…

サタン) …どんだけでかいんだ？

アスタロト) そろそろ着くよ。

馬鹿デカイ扉が徐々に開いてく、この先に何が…

ヘラ、S) いらつしやーい。

瀧賀) ずこーっ！

盛大にコケた。

瀧賀) なっ…

ほぼ色ちがいのヘラが居る、まあ羽根とかで分かるが。

瀧賀) …突っ込み所満載だ。

コシユマル) 言っちゃいけねえ…

神王妃ヘラはサンタコス、ヘラ・ウルズは学生服、どうなってんの

?

???) : おい、お前ら何してんだ？

背後から響く聞き慣れない声がある。

ヘラ・イース) あ、ベルゼブブ、来てたの？

ベルゼブブ) おう、朝からバイクで飛ばしまくってたぜ。

パンクな衣装に身を包んでいる悪魔、ベルゼブブだ。

アスタロト) こんにちは、ベルゼブブさん。

ベルゼブブ) おう、朝から元気だな。

確か記憶された事件、『ランの奇跡』で乗り移った悪魔としても知られている奴が：

ベルゼブブ) 久しぶりに蠅騎士団を再結成するか？

ヘラ・ウルズ) そんな事言ってるどルシファーに怒られ：

???) 明けの明星！

瞬時、目の前に闇が発生する。

ヘラ・ウルズ) あー：言わんこつちやない。

砂煙の中から現れたのは：

織天使ルシファー) ようこそ、俺は反逆の織天使・ルシファーだ。

白学ランだった、最近流行ってるの？それ。

織天使ルシファー) ん？：ああ、この服装か：気にするな、無理やり着せられただけだ。

誰に：と、言いたかった：言えない、色んな事を突っ込めない：

織天使ルシファー) サタンは？

神王妃ヘラ) 留守中よ。

ベルゼブブ) そうかい、じゃあ帰るか。

織天使ルシファー) まだ生きてたか。

ベルゼブブ) そう簡単には死なねーぜ。

さて、これからどうしようか？

コシユマル) 現実逃避か、逃げ方上手いな。

瀧賀) はは：

目の前で戦闘が起こる、退避しとこう。

コシユマル) じゃあ今からパンドラの所までいくか。

瀧賀) パンドラ？

確か開けてはいけない箱を抱えている神だっけ？不安が又出てくる。

そして案内される事十分、とある部屋の前まで連れてこられた。

アスタロト) パンドラさーん。

扉が空き、そこから見ていたのは…

パンドラ) …なにかしら？

隈が酷い女性だった、まるで徹夜明けの漫画家や小説家みたいな顔だ。

コシユマル) いや、新入りの紹介だ、一応挨拶位はしておかねーと。

瀧賀) …光芽瀧賀です、よろしくおねが…ッ！

突然の崩落、とつさにパンドラの手を引き、危機を回避する。

瀧賀) …危なかった…大丈夫ですか？

パンドラ) は…はい…あ、あの一…

コシユマル) …いつまで抱き抱えて居るんだ？兄弟。

瀧賀) !!

言われてみれば、前から抱き抱えて居る様に見える。

瀧賀) す…すみません！

急いで離し、立たせる。

パンドラ) …

顔が赤くなってる、何故に？

瀧賀) あの、お怪我は有りませんか？

パンドラ) …好きです、付き合ってください。

瀧賀) ………………覇!?

漢字が変わるほどのエマージェンシー。

アスタロト) ちよ…お兄ちゃんはアスタロト『の』お兄ちゃんだよ

！

『の』を強調されているし、と言うかこれも問題発言だし。

パンドラ) なら私はお姉さんになるかしら？

はい又問題発言、さつきよりグレードアップしてるし。

アスタロト) 成らなくて良い！

パンドラ) よろしくね、妹。

瀧賀) :そろそろ突っ込みを入れて良いか？

コシユマル) :普通はねえんだけどな。

そのやり取りは一時継続いた、ちなみに突っ込みは入れなかった。

アスタロト) ただいまー…

帰宅後、玄関でへばり着くアスタロト、いつもの俺の状態だな…

瀧賀) ほら起きろ。

アスタロト) もう疲れた…眠い…zzz…

寝たよこいつ、玄関で寝るってどんな神経しているんだ？

コシユマル) 魔力切れか、よつと。

コシユマルの姿が変わって行く、魔公バージョンだな。

魔公コシユマル) ふー…今日一日ご苦労さん。

瀧賀) はは、まさかあんな事になるなんてな…

魔公コシユマル) ま、あれが日常茶飯事だ、対応してかねえと後々

辛いぜ。

瀧賀) わかっているさ…

魔公コシユマル) どうした？

瀧賀) いや…ここに来る前に、俺のパートナーが居たんだ、主人思いで、無茶して、料理が下手な奴だったんだ。

魔公コシユマル) へー、どんな名前よ。

瀧賀) :アルラウネ、この間までドリアドだったんだ。

魔公コシユマル) :彼女か？

瀧賀) ちげーよ、アホ。

魔公コシユマル) 冗談…変な気配がする。

瀧賀) :どんな感じだ？

魔公コシユマル) 光であり闇でもある、だが半端な闇だな、闇は薄  
い。

瀧賀) :過ぎるのを待とう。

魔公コシユマル) ああ…

じつと息を潜め、去るのを待つ。

・  
・  
・  
魔公コシユマル) : どうやら行ったようだ。

瀧賀) ふー…

ピンポーンとチャイムがなる、誰だ？

恐る恐る玄関を開けると…

瀧賀) ツ! : ハク?! どうした!!

魔公コシユマル) すげえ怪我だ、直ぐに治療を…

ハク) う : うう、た : 瀧 : 賀 :

瀧賀) どうした!?

ハク) 気を : 着けて : まだ近くに…

???) はあ!

魔公コシユマル) エメラルドガード!!

目の前で衝撃波が起こる。

瀧賀) あんたは : まさか :

目の前で起こって居る現状を、認めたくなかった…まさか…こいつが襲って来るなんて :

その頃天界では。

アテナ) : 牢獄入りが決定しました。

オーデイン) : そうか、あとの事は任せろ。

ヘルメス) やつの事はどうかするから、気にしないでね。

アテナ) : 最後に、瀧賀さんの顔が見たかったです。

オーデイン）…その件もどうにかする。

アテナ）…任せました、お願いしますね、オーデイン。

ヘルメス）…じゃあね、また会える時が来るから。

アテナ）はい…では…さよなら。

オーデイン）…（奴なら、こいつをどうするかな？）

ヘルメス）…（さあ？多分アレをやるんじゃないかな？）

オーデイン）…（ああ、やりかねないな、アレを）

絶対やりそうな事をしでかすだろうと、二人は歩くアテナの背中を見ながら思っ居た。



## 闇の欠片（後編）

く闇の世界三日目く

昨日の出来事、今でも鮮明に覚えている。

漆黒の闇を手足のように動かす奴の姿は…

瀧賀）フアガン…お前…どうして！

フアガン）…その小娘を渡せ、特別に生かせてやるぞ。

瀧賀）ぎげんな、アスタロトに何のようだ？

俺ならまだしも、アスタロトが狙われる理由はないはず…

フアガン）…わしには時間がない、早くしろ。

瀧賀）断る、コシユマル、行くぞ。

魔公コシユマル）ああ、ご主人を守るんだ。

フアガン）…身の程知らずか、思い知らせて…む？

彼方から多数の黒い影が近づいて来る、あれは…

魔公コシユマル）ったく…やつとお出ましか、『真・魔王逆十字軍』

！

瀧賀）…（中二病かー！）

まさかの痛いネーミングだった。

魔公コシユマル）ま、ベルゼブブが付けた名前だけどな。

瀧賀）痛すぎるわ！

遂に突っ込みを入れてしまった。

サタン）…フアガンよ、始めるぞ。

フアガン）なめるなよサタン！

ベルゼブブ）どーやら眼中に無いようだな、俺ら。

織天使ルシファア）黙れ、舜花（しゅんか）、宜しく頼む。

ルシファアの隣に黒い服装をした人が居る、もしや…

瀧賀）あれって人じゃ…

魔公コシユマル）当たり前だ、『闇のパズドラ』、舜花ちゃんだ。

瀧賀）…凄く睨まれて居るけど？

魔公コシユマル）…

何故苦虫を噛み潰す様な顔をする。

魔公コシユマル」と、とにかくだ！舜花はとてつもなくパズルが上手い！

あ、ちゃん付け禁止なんだ。

舜花）：御託は良い、さっさと終わらせよう。

ファガン）のぼせ上がるな、小娘。

瞬間、舜花の目の前にパネルが出現した。

舜花）：闇4×3、光3×2、火3×1

瀧賀）：…！

まさかのドロップの構築時間が二秒もしないうちに組上がった。

瀧賀）レベルが違う…

魔公コシユマル）な、言っただろ？パズルが上手いって。

こうやって話している間にも凄いスピードでパズルを組み上げていく。

瀧賀）……………

もう上手いってレベルじゃなかった、もはやチートだ。

織天使ルシファー）終わりにしよう、明けの明星！

瞬時、ルシファーの剣から闇がほとばしり、闇の斬撃が視界を埋める。

瀧賀）っ…

頭の中にビジョンが映る、これは…

瀧賀）そう言う事か…！

脳裏に映ったのは『アスタロトが構築された時間』だった、その時に闇の宝玉がアスタロトの体内に入っていたって事だ。

瀧賀）だからアスタロトを狙って居たのか…

そもそもこのビジョンを放ったのは誰だ？

織天使ルシファー）怪我は無いか？

瀧賀）それよりハクが大怪我してるんだ、助けてやってくれ！

織天使ルシファー）：事情を説明してもらうために必要だな…わかった、善処しよう。

舜花）：逃げられたか。

ベルゼブブ）そーか…サタンの旦那は帰っちゃってるし、俺らも帰

るか。

舜花) その前に：瀧賀、と言ったな。

瀧賀) ……何の用ですか？

何故か睨まれている……何で？

舜花) ……お前は光でもなければ闇でもない、ただの人間だな。

瀧賀) ……

そう言われると心が痛む。

瀧賀) ……そう、ただの人間だ。

舜花) ……つまらん、そうやって物事を直ぐに決める等とは……この世界から出ていけ、明日中にだ。

魔公コシユマル) ……！、てめえ……

舜花) 貴様はこいつが立ち去るまで封印をするな、わかったな。

魔公コシユマル) ……わかったよ。

そうして今に至る、一人でどうするか……

瀧賀) ……

ケーキを作りながら考えている。

瀧賀) アスタロトは……なんて言うだろ？

魔公コシユマル) おーい、なんか手伝うこと有るか？

瀧賀) ピンクの毛が舞い散るから何もしなくて良いよ。

魔公コシユマル) ひでえな。

コシユマルと多分最後の会話をする。

魔公コシユマル) ……本当に出ていくのか？

瀧賀) ああ、普通の人間が居たって何にも良いことないしな。

魔公コシユマル) ……そうか、ご主人：泣くかな？

瀧賀) 分からん、だから今ケーキを作って居る。

魔公コシユマル) ……ケーキは思いを届ける為に有る、誰か言ったな。

瀧賀) さあな、ところで……舜花だっけか？何であんなに怒って居るんだ？

魔公コシユマル) しらんな。

瀧賀) そうか……あとはイチゴを乗せるだけだな。

魔公コシユマル) ……気を付けろよ、兄弟。

瀧賀) …お前もな。

エプロンから着替え、闇の境目…つまりは彼方に戻る場所にやつと着いた。

瀧賀) やつとか…以外と遠かった…ん？

誰か居る、あれは…

瀧賀) …舜花だっけか？俺に何のようだ？

舜花) 貴様は逆らうと言う言葉を知らない様だな…気が変わった、貴様を…殺す！

瞬間、刀を引き抜き切りかかって来た。

瀧賀) …どう言う事だ。

舜花) …言つたら、貴様を殺すと。

瀧賀) マジかよ…

ご存じの通り俺は超絶弱い、パズルも大して上手くない、それに対しあつちは太刀を構えている。

瀧賀) …逃げるか。

舜花) させんぞ。

瞬間、足を切られた。

瀧賀) ぐあつ…

血が吹き出してしまった、歩くのは難しいな…

舜花) このままにしても死ぬが…この手で殺してやろう。

瀧賀) …そうはいかないぞ？

近くの砂利を掴み顔に当てる。

舜花) ぐあああつ！

瀧賀) …一つ教えてやる、別に俺は逆らいはするし、物事を直ぐに決める事はしない。

舜花) では何故…

舜花の問いにこう答える。

瀧賀) …礼儀って奴だ、それ以外は無い。

舜花) …そうか…ますます気に入らん…死ぬ！

刀を掴み、また切りかかって来た。

瀧賀) …そうか。

舜花)!!

避けようともせず、動かず、切られることを選択した。

瀧賀) : 亞栖、じゃあな…

目を閉じ、その時を待つ。

その時、ガキンと言う音がした。

目を開けると、何故かアスタロトと魔公コシユマルが居た。

魔公コシユマル) ふざけんなよ…兄弟に危害加えるやつは、俺が全力でぶっ潰す!

舜花) : !

何故かアスタロトとコシユマルが普通に立っていた。

魔公コシユマル) : 俺は封印してねえし、力もセーブしてもいねえ、進化したんだ!俺とご主人は!

決めセリフっぽい事を言っていた。

天真アスタロト) : 私は、天真の魔神卿・アスタロト、お兄ちゃんのために…強くなった!

瀧賀) :

俺の為とか言うな、お前は新しい人生を送れば良いのにな…

舜花) : 貴様らは、何故そいつにこだわる。

魔公コシユマル) : 決まってるさ、大切な『家族』なんだからな。

天真アスタロト) だから許せないの、家族を傷つけられるって事を…

家族…か、その通りだよ、今は言えないけど確かに『家族』だもんな。

舜花) : 気が変わった、殺すのはやめよう、この世界に居ても良い。

瀧賀) :

何か裏が有りそうだな、詮索しようか…

舜花) : 一つ良いか?

瀧賀) え?

舜花) : 建前でも良い、だから私を…家族…と呼んでくれないか…?

?!!ドーナコト?

舜花) : 悪い、変な事を言ってしまったな、済まない。

天真アスタロト) お姉ちゃん、変じゃ無いよ。

舜花) !!

姉と呼ばれてびっくりしてるぞ、まあ…人の事を言えないがな。

舜花) : ふふっ、ふはっ…あはははっ…本当の妹だと思ってしまうな。

実の兄がここに要るがな。

舜花) とりあえずは済まなかった、この通りだ。

舜花) が深々と頭を下げる。

瀧賀) いや、とりあえずはこのくらいの怪我で済んだし、大丈夫だ。もちろん嘘、実際は物凄く痛くてたまらない。

天真アスタロト) お兄ちゃん、早く帰ろうよ。

瀧賀) そうだな。

舜花) 私も邪魔じゃ無ければお邪魔しても良いか？

天真アスタロト) 勿論良いよ。

何気に気さくな性格なんだな、この人。

瀧賀) っ…

天真アスタロト) どうしたの？

瀧賀) ああ、悪いが先に帰っててくれないか？用事を思い出した。

魔公コシユマル) そうか、気を付けろよ。

瀧賀) 分かってる。

また頭の中にビジョンが映る、ここで待っていると。

多分俺にこの事を教えている奴だろう、どんな奴だ？

期待と不安を感じながら待つのであった。

再会く憤慨？

フアガンを退け、舜花との和解。

僅か3日でいろんな事が有った、そして今、目の前には全知全能の神、ゼウスが目の前に居る。

これは、今起こっている戦争の終止符を打てる切り札だった。

覚醒ゼウス) 悪いの、ここに来てもらって。

瀧賀) : 闇に染まったんじゃないのか？

覚醒ゼウス) フェイクじゃ、フェイク、今起こっている戦争の根源を探そうと思つてな。

瀧賀) : 現状は解りますよね。

覚醒ゼウス) ああ、分かつとる。

フアガンの事は知っていたらしい。

覚醒ゼウス) : まさか、奴がああなるとはな…

瀧賀) 知り合いだったのか?!

覚醒ゼウス) : 腐れ縁じゃ、昔からのライバルと言つておくか。

瀧賀) : 戦友つて奴か…

覚醒ゼウス) まあ…あながち間違つて無いの…

表情を曇らせる、何か有ったのだろう。

瀧賀) : とりあえずは様子見つて所…かな？

覚醒ゼウス) ああ、まだ探せねばいけない所も有るしな。

瀧賀) : あれ？後ろに誰か居ます…よ…

後ろに居たのは、見慣れた人だった。

覚醒ゼウス) そうじゃった、今はこの通りじゃ。

トーコ) ふーん、随分大きな厄介事に首を突っ込んで居るのね。

瀧賀) な…何故こちらに…?

若干呆れ目のトーコさんがこちらに近づいてくる。

トーコ) : 面白いじゃない、主人公っぽい事してるわねー。

バレバレだった。

瀧賀) : あの…ちよ…

トーコ) : 全く、皆心配してたわよ。

瀧賀) : すみません。

トーコ) ま、私に謝ることは無いわよ、謝るならあなたのパーティーの皆にでしょ？

瀧賀) : 顔向け出来ませんよ、あんな逃げ方やってたし、殴られて嫌いとか言われて：

???) そんな事しませんし、言いませんよ。

瀧賀) え？

背後から優しい声がする、振り返ると：

アルラウネ) マスター、こんにちわ。

瀧賀) な：

幻覚でもない、偽物でもない、正真正銘のアルラウネだった。

瀧賀) : 何でここに来た？

アルラウネ) マスターの近くに居なければ私は私ですら有りません、だから一緒になった居たいんです。

なんつー小恥ずかしい事を平然と：

瀧賀) なんと言うか：ありがとうな、しょうもない俺なんかが主人で。

アルラウネ) あなたが良いんです、最初に出会って、助けて頂いたのはマスターですから。

瀧賀) : そう言えば、残りの二人は？

アルラウネ) そろそろ来るはずですが：

辺りを見渡しても何も：

瀧賀) あ：

物凄く酔っているエキドナと何故か進化しているタナトスが居た。エキドナ) あの空間：物凄く揺れるんだけど：あ、ダーリン：

大精霊タナトス) 久しぶり：ね。

大して久しぶりでもないんだけどな。

瀧賀) タナトス、何で究極進化しているんだ？

大精霊タナトス) トーコさんに：鍛えてもらった：後素材貰った：

瀧賀) そ、そうか：それにしてもタナトス、少しは声は出ているよ。うだな。



いつも浮遊し、声が小さいからホワイトボードに書いているから驚きだ。

大精霊タナトス) マイクと小型スピーカーを付けてるから…

瀧賀) ハイテクすぎるわ!

現代技術まで応用してきたぞ、この精霊は。

トーコ) とりあえず、大丈夫そうで良かったわ、死んでたらどうしようかと思ってたしね。

瀧賀) ひでえ…

そこまで考えて居たのか…

アルラウネ) そう言えばマスターはどこで暮らして居るんですか?

瀧賀) ああ、近くの和風民家…はっ!

だが時既に遅しだった。

トーコ) ふふふ…さあ、お宅訪問へレッツゴー♪

瀧賀) やめてくれー!

悲痛な叫びが響いた…

そして居間にて。

天真アスタロト) お兄ちゃん? ちゃんと説明してね♪

瀧賀) …前居た世界のパートナー達、これで良いか?

天真アスタロト) 良くない。

恐ろしいオーラが漂っているよ、そこまで怒る事なのか?

魔公コシユマル) ご主人は怒ると怖いぜ。

瀧賀) 全くもってその通りだよ。

もう一つのオーラが漂っている、その主は…

アルラウネ) 私達にもちゃんと説明してくださいね?

こっちも恐ろしかった、鬼神の如きオーラの板挟みで胃がキリキリする。

舜花) …ならば、先に自己紹介してからにしたらいと思うぞ。

瀧賀) !!、それは名案だな。

だがこの行為は火に油を注ぐ、最悪の選択だった…

アルラウネ) …私は『最初』のパートナーのアルラウネです、マスターとは信頼しあっています。

最初を強調するな。

天真アスタロト)：私は天真の魔神卿アスタロト、お兄ちゃんの妹です♪

間違っではないけど…いないけど！

大精霊タナトス)：

説明する気無し！

パンドラ) 夫です。

瀧賀) 前より酷くなってる！

パンドラ) 違いました？

瀧賀) 違うから…そもそも何のようだよ。

パンドラ) そうだった…舜花ちゃん、ルシファーからの報告書、渡しておくわね。

舜花) そうか、ふむ…

瀧賀) 何の報告書？

舜花) 白虎からの情報だ、ファガンの行動範囲から今に至るまでの経緯だな。

ハク) そんな事を…

瀧賀) …そう言えば、ハクは今どこに…

ハク) ここに居るよ。

瀧賀) うおわ！

至近距離で下から出てきた。

ハク) びっくりした？

瀧賀) びっくりした…

ハク) そ♪

瀧賀) …

なんと言う上機嫌。

ハク) …♪

瀧賀) …なあ、そろそろ離れて…

ハク) や。

瀧賀) …

チラッと見てみると…

アルラウネ・アスタロト) うふふ…  
ヤバイ、こいつら同盟組みやがった。

ハク) …

アルラウネ達の所を見て…

ハク) ベー。

カチンと、スイッチが入ったような音がした。

天真アスタロト) お兄ちゃん! 覚悟して!

アルラウネ) マスター! 腹くくって下さい!

瀧賀) 出来るかー!

全速前進DA☆

アルラウネ) 待ってください!

天真アスタロト) 逃げるなんて男らしくないよ! お兄ちゃん!

瀧賀) 両者青竜刀を持ってなにいつてやがる!

さつきチラツとトーコさんが、青竜刀を渡していた、どこに持って

いたんだ?

瀧賀) うおおあ

容赦なく青竜刀を振りかざしてきた。

アルラウネ) これでおしまいです!

青竜刀を振ってきた!

◆避ける

◆ガード

◆土下座

◇更に走る

瀧賀) うおおおお!

イン、ザ、ダツシュ!

瀧賀) 死んでたまるかあああ!

走っている最中、傷が開き、躓いた。

瀧賀) うわっ…

アルラウネ) !、マスター!

目の前には尖った石、避けようが無い…

???) 危ないっ。

突然俺を支えてくれたのは、真紅の鎧を纏った女性だった。

??? 無事か？

瀧賀) 助かった…ありがとうございます。

??? それなら良かった、立てるか？

瀧賀) はい、よいしょ…と。

??? あれ？君は瀧賀君じゃ無いか？神王妃ヘラが連れてきたパズドラーとか…

瀧賀) あ、はい、戦争を止めてくれると言っていたので付いてきました。

??? ああ、両者停戦状態のはずだが…攻撃を受けている、なにか知っているか？白虎からの情報からはファガンの仕業だと聞いているが…

瀧賀) …闇の究極進化をするらしく、アスタロトの中に有る闇の宝玉が目的らしいです、アスタロトの保護を優先した方が良いと思います。

??? ふむ…アスタロト、確かに君の中には闇の宝玉が有るが…本当なのか？

天真アスタロト) う、うん…

アスタロトは気弱に答えていた、あまり考えたくもないのだろうか。

??? とりあえず、アスタロトの回りには嚴重な警備を張ろう、明日にでも着くだろう。

瀧賀) ですが…いつまでも守って居られませんよ。

??? …そうだな、考えとく、そろそろ攻める番か…作戦が決まったら知らせる。

瀧賀) はい、分かりました。

覚醒ミネルヴァ) おつと…まだ名乗って無かったな、私は覚醒ミネルヴァ、一応ヘラに仕える部下だ。

瀧賀) 苦労してそうですね。

覚醒ミネルヴァ) 全くだ、仕事は増えていくばかりだ。

余り緊張感のない会話を少しして、ミネルヴァは飛び去って行った。

瀧賀) …さて、帰るか。

アララウネ) そうですね…先程はスミマセンでした。

瀧賀) …え？

アララウネ) 何故か怒ってしまっ…

瀧賀) あー…気にしなくてもいいんだけどな…

天真アスタロト) それなら私も悪いよ…いきなり青竜刀を振り回して…ごめんなさい。

何故チヨイスが青竜刀なのかって所を突っ込みたかったが、今はそんな空気じゃ無いな。

瀧賀) まあ、確かに命の危険が感じられたが、大して気にして無いし、ずっとそんな感じで居られるとこっちも困る。

アララウネ) でもっ…

瀧賀) じゃあ命令する、気にするな、良いな？

アララウネ) ううー…

瀧賀) ほらほら、マスターの命令だぞ、素直に聞けよ。

アララウネ) …分かりました、極力気にしない様にします。

瀧賀) よし、アスタロトも余り気にするなよ、ちゃんと説明してなかった俺も悪いんだし。

アスタロト) …うん、わかった、頑張る。

何を頑張るんだ？

瀧賀) …なあ、1つ良いか？

アララウネ) 何ですか？

瀧賀) …もし俺が、もとの世界に帰ることになったら、どうする？

アララウネ) …見送ります。

瀧賀) え？

案外あっさりと答え…

アスタロト) そしてまた連れ去る、諦めないよ？

瀧賀) …

恐ろしい奴らだな、実行しそうだ。

そして夜中、二階の窓を開けて空を眺めていたら、ミネルヴァが突撃してきた。

瀧賀) うおっ…いきなり飛び込んで来ないでください!

覚醒ミネルヴァ) 済まない、作戦が思い付いたから君にだけでも伝えておかないと思つてな。

瀧賀) 作戦?

もう決まつたのか? 早いな…

覚醒ミネルヴァ) ああ、その作戦はな…

耳を貸せとジエスチャーする、それに従い、耳を近づけると…

覚醒ミネルヴァ) ……と言うわけだ、やつてくれるか?

瀧賀) ……恥ずかしいです。

覚醒ミネルヴァ) 頼む、君にしかできないことなんだ、じゃあな。

瀧賀) あ、ちよ…

作戦はとんでもなく滅茶苦茶な奴だったし、何より恥ずかしかった、そのまま自分の布団に入り、気にしない様にした。

## 未来の時女神と魔界の凶王子く決戦前日く

前回のあらすじ、アルラウネ達がやって来てミネルヴァさんが作戦を早速作って来た。

瀧賀) : そんな訳で、このミネルヴァさんの作戦どうり結婚式作戦をしたいと思います。

アルラウネ) : マスター、go to hell シタイン de at h 力??

瀧賀) : .....

超絶こえええ.....

覚醒ミネルヴァ) それは私から説明しよう、聖獣達の楽園の近くには結婚式場がある、ファガンはそこを放置しているらしく、そこなら突破口となれる1つの道だそうだ。

アルラウネ) でも...何で居るって分かるんですか?

覚醒ミネルヴァ) : 人間の墓が有るらしい、三日に一回は掃除をするらしいから、居る可能性は高い。

瀧賀) : : で、ハクは?

覚醒ミネルヴァ) 結婚式場の確保をしている、作戦には必要不可欠だからな。

瀧賀) : : : : : あのー、1つ良いですか?

覚醒ミネルヴァ) なんだ?

瀧賀) ずっと気になって居たんだか : 花嫁の役は誰がするんだ?

覚醒ミネルヴァ) : : : : : .....

この顔は何にも考えて居なかった顔だな。

舜花) : : : : : では仕方ない、私とその任務を引き受けよう。

アルラウネ) !!?

瀧賀) そうか : 宜しくたのんだ :

アルラウネ) いいえ、私が出ます!

瀧賀) え?

アスタロト) じゃあ私が :

トーコ) アスタロトちゃんはだめよー? 捕まっちゃうからね。

むむむ…と頬を膨らますアスタロト、可愛いなこんちくしょう  
舜花) なあ、こういう場合、家族と呼ばれた私はどうしたら良いんだ？

瀧賀) なっ…

前回のネタを引っ張り出して来やがった。

アルラウネ) ……

最早無言、恐ろしいほどまでの無表情。

瀧賀) …別に変な意味じゃ無いからな、この人を姉的な物と同じだからな？

アルラウネ) …どうでしょうね…どうせ私なんてその内したらパーティーの中に誰も入れてくれないお留守番キヤラクターだし…ああ…メタトロンの様に回復パの要に成りたい…

物凄くネガティブになっている、その内したら蚤に成りたい…とか言い出しそうな勢いだ。

舜花) ふむ…では瀧賀、これからお姉ちゃんと呼べ、私は呼び捨てにするから。

瀧賀) !!?

意味が分から無いでござる！本っ当に意味が分から無いでござる！

舜花) アルラウネは妹になるな、お姉ちゃんと呼んでも良いぞ。

アルラウネ) !!

アルラウネがけっこう反応した、何でかなー？

瀧賀) …はっ…

ようやく理解した、こういう計算なのか…

俺に姉と呼ばせる

|| 嫁役を破棄する

+ アルラウネは妹になる

|| アルラウネは嫁さんになる

頭の中でカシヤカシヤチーンと計算が出てきた。

瀧賀) …舜花さん、ちよつと…

舜花さんを廊下呼び、事情を話してもらう。



瀧賀) …どういう事ですか？

舜花) ふむ…アルラウネが嫁の役をしたいそうだし、私はいつでも臨戦態勢を取らなければいけないからな。

瀧賀) そうか…ゼウスは？

舜花) 勿論了承している、ルシファーとベルゼブブは麒麟の対処、ゼウスはファガンとの決着を着けるらしい

瀧賀) 青龍と玄武は？

舜花) 軍で取り押さえるらしい、瀧賀にもちやんと役目は有るぞ。

瀧賀) ？

舜花) 白虎と朱雀、それとコシユマルで光の方を食い止める、パーティーには頼れないからな。

瀧賀) ほう…どれくらい稼げば良い？

舜花) 終わればゼウスが閃光を出す、それまでの辛抱だ。

瀧賀) 分かりました、その役目、引き受けましょう。

舜花) …済まないな、こんな世界に来て、その上でこんな戦争にまで首を突っ込ませて。

瀧賀) …悪いことだけじゃ有りませんよ、アルラウネ達に出会えたり、アスタロトが妹の生まれ変わりだって事も良い事、ただ今驚いているのは…

舜花) ？

瀧賀) さっきの姉さんのキャラ崩壊かな？

その瞬間、顔を真っ赤にしてうつむいた。

舜花) そ、それは…演技だ、演技…

瀧賀) そういうことにおきますよ、ベルゼブブに言ったらどうなるだろう…

舜花) それだけは止めてくれ！何でもするから止めてくれ！

そこまで必死にならなくても…

舜花) じ、じゃあ、私のファーストキスをやる、それでどうだ？

瀧賀) いえ、結構です。

こんな理由で俺のファーストキスをやりたくないし。

舜花) そ、そうか…じゃあ作戦の準備を手伝ってくる…またな…

何故か落ち込んでるし…

一方、隣の部屋では。

アルラウネ) …マスター…私は一生付いて行きます…

アスタロト) …妹って…まさか…ね。

数日後、作戦前日、ベルゼブブがやって来た。

瀧賀) あれ? バイクの音が…

ベルゼブブ) おい、暇だからツーリングに行かねえか?

瀧賀) あ…はい、行きます。

バイクの後ろに跨がり、渡されたヘルメットをかぶる。

というかヘルメット被るんだ…

そんなこんなで町まで来た、以外と近い所だな。

ベルゼブブ) さて、ちよつくら歩くか。

瀧賀) あれ? 結構人が居るんですね、最も悪魔が多いと思ってました。

ベルゼブブ) まあ、治安は悪くないし、悪魔共が暴れる事なんて滅多にねえ、チビデーモン共と人間のガキが仲良くなるなんて良くあることだ、悪いのは天界さ。

瀧賀) え?

ベルゼブブ) 天界の奴等はいいい奴は殆んど居ねえ、大半は駒としか見てねえ天使共だな。

瀧賀) …

と言うことはオーディンもなのかな…ヘルメスも裏側の顔があるのかな…

ベルゼブブ) …お、スクール、元気か?

スクール) はい、このとうりピンピンしてます。

瀧賀) え? スクールって…殺されたんじゃ…

ベルゼブブ) よく知ってるな、ヴェルダンデイが喋ったんだな。

瀧賀) 詳しく教えて下さい。

ベルゼブブ) そうだな…スクール、ちよつくら付き合ってくれや。

スクルド）はい、分かりました。  
そして居酒屋にて。

と言うか居酒屋まで有るのか：

スクルド）ではヴェルも知らない「私が一度死んだ」話をしましよ  
う、少し長くなりますが良いですか？

瀧賀）構いません。

スクルド）では：

ベルゼブブ）親父、もう一杯！

隣では一人で酒盛りをしていたベルゼブブにスクルドが肘鉄を笑  
顔で脇に直撃させた。

スクルド）：では取り直して：まず、私には人が神を恨む人の怨念  
を一時的に受ける役を受けてました、当然時女神である私には余り耐  
性が有りません、それでも頑張り続けてしまった私は対に臨界点を越  
えてしまったんです、その日からは酷い頭痛、歩けないくらいの全身  
への痛み、遂には時を操る力すら有りませんでした、その時にヘラが  
やって来て、少しずつ私から怨念を削ってくれました、理由は分か  
りません、そして又ヘラがやって来る時間になっても来る気配は有り  
ませんでした、そして怨念は暴発、少し遅れてヘラがやって来て、慌  
てて怨念を吸いだしている所を天使達とヴェルに見つかってしまい、  
私は：一度死にました。

それでヴェルは勘違いを：

スクルド）そして私は少しづつこの闇の世界で蘇生していった：

瀧賀）：ヴェルにちゃんと説明した方が良いですね。

スクルド）はい、ちゃんとこの口で真実を：と言うかウルドはあな  
たにセクハラをしませんでしたか？

瀧賀）：：はい、酷いセクハラをし続けてました。

スクルド）やつぱり：私なんていきなり背後に近寄られて胸をわし  
づかみですよ!?!人前で!!本当に恥ずかしかったんですから：

瀧賀）：あいつは昔からそんなセクハラを？

スクルド）しよつちゆう私にセクハラを：

瀧賀）そういえばヴェルにはしたこと無いような：

スクルド)昔やって杖でフルボッコにされて以来全然しなくなったんですよ。

瀧賀)うわ…

ヴェル)程々にしてやれよ…

スクルド)：明日、多分あの二人も来るはずですが、こちらが何らかの動きを見せているなら当然ですかね…

瀧賀)：あいつらと戦うのか…結構きついな。

スクルド)どっちの意味ですか？

瀧賀)：精神的に。

スクルド)やつぱり…ですが、ゼウスが戻ったときは天界は変わるのでしよう。

瀧賀)そうでなくては困りますからねえ…

スクルド)じゃあ呑みましょうか、決戦前日ですし、パーっと景気付けに。

瀧賀)いや、未だ未成年なんですけど…

スクルド)じゃあ大吟醸はダメですね。

酒の瓶を目の前に置き、ベルゼブブが復活した。

ベルゼブブ)ならノンアルだな、結構あつちの世界では流行っているらしいじゃねえか。

瀧賀)それなら…

コップに注がれたノンアル、何か安心。

瀧賀)いただきます。

ぐいっと一気に飲み干した。

ベルゼブブ)あれ？それは魔界名産、魔界酒…

瀧賀)…

その場で気を失った、微かにアルラウネとアスタロトに怒こられている二人の姿が見えたような…

アルラウネ)：全く…あの人たちは…寝ている姿は本当に子供みたいですね。

瀧賀)：アルラウネ…

アルラウネ)！

びつくりして跳ね上がってしまった、寝言でしたか…

アルラウネ)：マスター、私はあなたに恋をしています、私は…あなたの側にずっと居たい…でもマスターには帰るべき場所がある…私、どうしたら良いでしょうか？

涙が溢れてくる、気持ちが押さえられなくなってしまふ。

アルラウネ)昨日、拐うとか言いましたけど、マスターはこの世界には居るべき存在ではない…

優しすぎるから、好かれ過ぎるから、裏切れないから…

アルラウネ)：涙が止まりません、どうしたら良いですか？

無意味な質問を投げつける、答える事もないのに…

アルラウネ)：さて、これからご飯作りをしますね、また…

瀧賀)：(ごめんな、アルラウネ…)

微かな意識の中、アルラウネの泣き声が確かに聞こえてた、しゃべっていた内容も、ある程度は…

エキドナ)ダーリン…寝てる？

大精霊タナトス）本当は：起きてるでしょ？

瀧賀）：ああ。

エキドナ）：本当にいつかは帰るのね。

瀧賀）：そりやあな：アルラウネの言う通り、俺は激弱だし、直ぐに人をしんじてしまう、それが優しさと言う名の甘さだ。

大精霊タナトス）だけどそれがなければ私はあなたを信じなかった  
：

エキドナ）それが有ったから私は好きで居られる、ちよつと恥ずかしいね。

瀧賀）：もう少し寝る、夕飯になったら起こしてくれ。

エキドナ）はい、行こ、タナトスちゃん。

大精霊タナトス）：お休み。

二人は部屋を出ていく、さて、明日の事どうしようかな？

その頃、伝説の大地に有る牢獄、静かに祈るアテナが居た。

アテナ）：オーデインですか？

オーデイン）ああ、明日闇の方で瀧賀がやらかすらしい。

アテナ）本当は私も力に成りたいのですが、今は無理ですね。

オーデイン）：俺は今迷っている。

アテナ）何をですか？

オーデイン）上に従うか、瀧賀に加勢するか。

アテナ）どっちでも良いですよ、ただ瀧賀さんを怪我させたり殺したりするのならば：全てを解放して天界を消滅させます。

オーデイン）それは恐ろしいな。

アテナ）では寝ます、夢の中で瀧賀さんをなでなでしまくるんです。

オーデイン）夢の中で噛まれるなよ。

アテナ）：きをつけますよ

それぞれの感情が渦巻くなか、決戦までの時間はもう少し…

## 決戦く愛を誓えし時く

作戦当日、魔王城にて。

冥界神ハーデス）：待ってたぞ。

瀧賀）あんたは…あのときの。

矢弥が瞬殺した奴だ。

冥界神ハーデス）：今回の奴等の動きはこの平原から来る、恐らくは一時間で決着が付く…耐えろ。

瀧賀）：言われなくても承知している。

冥界神ハーデス）では行こうか、むん…

瞬間、辺りは闇に包まれた。

そして結婚式場、アルラウネの姿は見えないが、辺りに舜花さんの悪魔。パが姿を消していた。

トーコ）さて、そろそろ始めるわよ。

瀧賀）はい。

意を決し戦いに備える。

覚醒ゼウス）新婦入場。

紅い扉が空き、黒いウエディングドレスを纏ったアルラウネが入場してきた。

瀧賀）…っ。

思わず息を飲んでしまう、白だと思っていたドレスが姿を包む漆黒のドレス、ベールの中に見えるのは頬を赤らめたグリーンアイの少女、俺のパートナーだ。

覚醒ゼウス）：時間がない、飛ばし飛ばしでやるぞい。

瀧賀）：構わない。

覚醒ゼウス）：お互いに信頼し合い、永遠（とわ）に幸せにしてくださいと誓えますか？

瀧賀）：はい、誓います。

あああ…演技とはいえ、物凄く恥ずかしい…穴が有ったら入りたい



…無かったらドリルで開けよう。  
覚醒ゼウス）では指輪を。

瀧賀）…

指輪を受け取り、アルラウネの薬指にはめる。

アルラウネ）…

そしてアルラウネも俺の薬指に指輪をはめる。

覚醒ゼウス）…誓いのキスを。

瀧賀／アルラウネ）!!

遂に来てしまった…一番緊張する場面が…

覚醒ゼウス）…それが突撃の合図じゃ、早めにしてくれ。

そうだよな…もう逃げない、アルラウネのボールを上げ、アルラウネは目を瞑る。

瀧賀）…

二つの影が重なった。

（舜花）今だ！総員突撃！

瞬間にその場ほぼ全員が居なくなつた。

瀧賀）…じゃあ、俺は行くから、安全な所に居ろよ？

アルラウネ）…無茶しないでね？マスター…じゃなかった、あなた。

瀧賀）…やっぱりマスターにしているでくれ、小恥ずかしい。

アルラウネ）はい、行ってらっしゃい、マスター！

瀧賀）…行ってくる。

そして俺は森の中を駆け抜ける。

舜花）…闇4×2、火3×1！

2way攻撃でも結構進めないな、どうしたものか…

覚醒ネプチューン）私に任せろ！ヘブンスシユトリーム！

瞬間、目の前の敵達はバタバタと倒れていく。

舜花）…早くしてくれよ、ゼウス！

そして平原にて。

瀧賀) : うおおおお！十コンボだあああ！

ハク) やあつ！

アークライン) ぐうっ！

目の前の聖騎士を倒したことで気がついた。

瀧賀) : 囲まれているな…

レイラン) そうですね…ハク！アレをしましょう！

ハク) : そうだね、さっさとやっちゃおう。

魔公コシユマル) アレって？

レイラン) 究極進化！覚醒！

ハク) : 究極進化、覚醒。

数々の人が集まり、辺りを包み込む。

覚醒レイラン) : さあ、直ぐにけりを着けましょう！

覚醒ハク) : わかった。

覚醒レイラン) 朱雀…

覚醒ハク) 白虎…

二人が構えをとる、ヤバそうだ。

覚醒レイラン／ハク) 七星陣!!

辺りが吹き飛んだ。

覚醒レイラン) ふう、まだまだ来ますね。

覚醒ハク) もう帰って寝たい…

覚醒レイラン) もう少し頑張ってください!!

瀧賀) く…コシユマル、この状況やばくないか？

魔公コシユマル) まあな…せめてもうひとりパズドラが現れたら

…

瀧賀) 無い物ねだりはしないことだな。

魔公コシユマル) よし！じゃあ…おいおい、あんなドラゴンまで居

んのかよ…

瀧賀) あれは…矢弥！

矢弥)先輩ー！加勢しまーす！とうっ！

飛んでいる竜から飛び降り着地。

覚醒レイラン)十点

覚醒ハク)十点

魔公コシユマル)十点

矢弥)やった！満点っす！

瀧賀)このアホ共が！

戦闘中になにしてんだこいつら。

瀧賀)と言うかお前は敵じゃないのかよ？

矢弥)いや、先輩の敵は私の敵、私の敵は先輩の敵っす！！

瀧賀)俺を含めるな！！

???)何やってんだお前は。

瀧賀)：オーデイン、遂に来たか。

ヘルメス)僕も居るよ？

瀧賀)：

???)はやくやりなさい！奴は闇の人間、手加減する必要は有りませ  
ん！！

オーデイン)ロズエル議長：

ウルド)どけえええ！

オーデイン)！

瀧賀)ウルド！来てくれたのか？

ウルド)えええ！スクルドから連絡が有りまして、一番びっくりして

いたのがヴェルだったけど。

ヴェルダンデイ)：はあ、私ったらダメね…せめて…スクルドをあ

んなことにした奴を叩きのめすくらいかしら？

ロズエル)：貴様ら、こっちを裏切るのか？

ウルド)少なくともそつちよりはまだまし。

瀧賀)：オーデイン、どうするんだ？

オーデイン)：

ロズエル)はやく！

オーデイン)：うるせえな…：おらあ！

ロズエル）！

オーデイン）もうメンドクセエんだよ…考えるのはもうやめだ！俺はこいつのために大暴れする！！

（ロズエル）く…貴様らあああ！

瀧賀）…矢弥と俺の盤面が…

上手くやれば全属性横一列を揃えられるドロップになっていた。

瀧賀）…矢弥！やるぞ！

矢弥）了解っす！！

火属性横一列！

水属性横一列！

木属性横一列！

光属性横一列！

闇属性横一列！

瀧賀）これで！終わりだあああ！

仲間全員）うおおおお！………

覚醒ゼウス）ぬあああ！

ファガン）ぬおおお！

覚醒ゼウス）まさにワシ等に相応しい一騎討ちじゃな！

ファガン）ワシは燃えてきたぞおおお！！

お互い武器を捨て、殴り相を始める。

ファガン）フハハハハ！それで終わりか！ゼウス！

覚醒ゼウス）阿呆が！まだ終わらんわ！

ファガン）：昔を思い出すな、こんな殴りをしてると。  
覚醒ゼウス）：最初のパズドラ、昔のワシ等のパートナーじゃつ  
たな。

ファガン）抜かせ、ワシのだ！

覚醒ゼウス）うるさいわい！この脳筋が！

ファガン）何だと！

覚醒ゼウス）：そろそろ決着をつけるか。

ファガン）そうだな。

お互い本気の力を解き放つ。

超覚醒ゼウス）ぬあああ！

星輝ファガン）うおおお！

二つの力がぶつかり合う。

星輝ファガン）：ゼウス、楽しかったぞ！

超覚醒ゼウス）ああ！ワシもだ！

そして：

超醒ゼウス）ラース・オブ・ゴット！

星輝ファガン）四神乱舞！

決着。

ゼウス）：

ファガン）：ぐうっ！

ゼウス）せめて、あいつの隣に墓を作ってやる、感謝しろよ。

ファガン）恩に：着る：

ゼウス）：神の雷い！

閃光を空に解き放った。

ロズエル）ぐうっ…まだだ…終われない！

瀧賀）…閃光が…終わったのか…

ロズエル）…殺してくれ。

瀧賀）え？

ロズエル）こんな私は天使失格だ、今まで自分の事しか考えてなかった…私は…最低…

瀧賀）！！

すかさずロズエルにビンタをした。

瀧賀）悪いと思うなら今まで以上に人を幸せにしろ！仲間を思え！敵だと思ふ相手の事も考えろ！それが守れないうちは絶対に死ぬな！

ロズエル）！！

ヘルメス）ロズエル議長、ほら。

ロズエル）…天使を叩くとは大罪だな…でも、ありがとう。

瀧賀）別に感謝することは無いと思うぞ。

ロズエル）出来れば、これからもよろしく頼む。

瀧賀）…多分な。

また新しい始まり。

そして戦いは終わり、数日後ゼウスに呼ばれ、こういい放たれた。  
ゼウス) そうじゃな…ゲームをするか。

瀧賀) …え？

ゼウス) 面白いぞ。

瀧賀) …どんな内容？

ゼウス) この最高難易度、ヘビーマタルドラゴンが居る所にアテナが居る、それを持ち帰る、そんなゲームじゃ、あ、お主人でじゃぞ。

瀧賀) …景品は？

ゼウス) 特別にあちらの世界に帰る権利をやろう。

瀧賀) やる！

ゼウス) 一応トーコの許可はもらっとるぞ。

瀧賀) いつ頃するんだ??

ゼウス) 明日辺りじゃな。

瀧賀) よし！じゃあ明日また来る。

ゼウス) 準備は怠るなよ。

そして廊下にて。

瀧賀) あ…ロズエル、こんにちは。

ロズエル) 瀧賀、来ていたのか！

瀧賀) ゼウスに呼ばれてな…あれからどうしてた？

ロズエル) 一から考えて、あつちとの共存をもう少しで完了しそう  
だ。

瀧賀) そうか、頑張りすぎるなよ？

ついロズエルの頭を撫でてしまう。

ロズエル) !!

瀧賀) あ、悪い…

ロズエル) …今から茶にしないか？人界に良いカフェが有るんだ。

瀧賀) ああ、良いけど。

ロズエル) じゃあ捕まってるよ。

瀧賀) え？

やはり、窓からダイブだった(俺をつかみながら)  
人界にて、ロズエルは着替えていた。

瀧賀) いつの間に：

ロズエル) ん？見たかったか？

瀧賀) 結構だ、早く案内してくれ。

ロズエル) ははっ、瀧賀と居ると実に楽しい。

瀧賀) 何でだ？

ロズエル) 察せ、男だろ？

瀧賀) ??

何だかんだでカフェに到着した。

ロズエル) アイスコーヒーで良いか？

瀧賀) 構わないぞ。

ロズエル) アイスコーヒーを2つ頼む。

店員) はい。

ロズエル) 瀧賀、私は：議長を辞任するんだ、さすがに疲れた：私は天使と言えど何代目かも忘れてな：私みたいな天使は寿命が人間と変わらない：

瀧賀) そうなのか：

ロズエル) だからな：いつかお前も帰る日が来るはず、その時に：付いて行って良いか？

瀧賀) ：ホワッツ？!

ロズエル) !!、いきなりどうした!!

瀧賀) いや、と言うか行って良いのか？

ロズエル) ああ、もうゼウス様には話をつけている、後はお前次第だ。

瀧賀) うーん：仕方ない、家はアパートだけどそれでも良いなら。

ロズエル) 本当か!!? やった：ずっと憧れていたんだ、めいっばいおしやれして、天使の理に縛られずに生きていける：

瀧賀) ：見た目は以外とクールに見えても子供みたいにはしやぐん



だな。

ロズエル）あ…悪い、私の悪い癖だ。

瀧賀）いや、元気が有るのは良いことだ。

ロズエル）そ、そうか…

???) ちよつと席を一緒にしても良いかしら？

そこに居たのはオレンジ色の髪の女性、どこかで見覚えが…

瀧賀）…………ハッ！お前は！

やはりこいつは…

神王妃ヘラ）久しぶり…程でもないわね、こんにちは、瀧賀君♪

ロズエル）ヘラ…

神王妃ヘラ）あら、貴女まで居たのね。

瀧賀）何の用？

神王妃ヘラ）アスタロトちゃんからの伝言でね、帰りは遅くなりすぎないようにって。

瀧賀）そうか…ま、少しぐらい遊んでも良いだろ。

ロズエル）そうだな、ほら、アイスコーヒーだ。

瀧賀）さんきゅ。

神王妃ヘラ）私はカフェラテにしようかしらね。

瀧賀）しっかし…何で俺には属性マークが無いんだろうな。

テーブルにへばりついてしまう。

神王妃ヘラ）わからないわね、少なくとも三属性の中から一つは出てきそうだけどね。

瀧賀）やーめーろー、ほっぺを掴むなー。

神王妃ヘラ）以外と延びるわね。

ロズエル）…フフっ、ヘラはいつもこんな感じだったのか？

瀧賀）そりやーな、けっこう楽観的だぞ。

神王妃ヘラ）そういうウリエルこそ笑ったりするのね。

ロズエル）私だって笑うさ！

神王妃ヘラ）しかし…瀧賀君と居ると結構性格は緩むわよね、私も結構。ピリピリしてたし。

ロズエル）確かに私もカリカリしてたような…

神王妃ヘラ) …

ロズエル) …

瀧賀) ?、お前らどうした?

神王妃ヘラ) …そっちをお願い。

ロズエル) わかった。

瀧賀) ?

瞬間、双方からほっぺを掴まれた。

瀧賀) 何がやりたいんだお前は…

ロズエル) …

神王妃ヘラ) …

このやり取りは十分続いた…

ロズエル) じゃあそろそろ戻るかな?

神王妃ヘラ) そうね、私のところにも書類がバンバン来ちゃって大

変なのよ。

ロズエル) それはすまないな。

神王妃ヘラ) まあ、これ以上犠牲は出さないって訳だから安いもん

よ。

ロズエル) …そうだよな、じゃ、瀧賀、頑張れよ。

瀧賀) おう。

ウリエルは飛び去って行った。

神王妃ヘラ) さーて、そろそろ私も帰らないと…

瀧賀) ま、気長に頑張れ。

神王妃ヘラ) 言われなくてもわかっているわよ、じゃね、瀧賀君♪

瀧賀) ああ、またな。

ヘラと別れた後は素直に帰宅、アスタロトはケーキの作り方を教

え、裸エプロンのウルドをヴェルと源氏式ラリアットで轟沈。

ヴェルダンデイ) 全く、馬鹿は学習しないわね。

ウルド) 仕方ないだろう、もうすぐこいつは帰ってしまうわけだし

…

ヴェルダンデイ) はいはい、取り合えず説教よ。

ウルド) ぐえ…苦しい…

襟が無いいためそのままずるずる引つ張られていく、容赦ねえな

瀧賀) :

アルラウネ) あ、マスター。

瀧賀) 洗濯物か？

アルラウネ) はい、ほとんどはトコさんの物ですけど。

瀧賀) 大変そうだな、手伝おうか？

アルラウネ) いえ、大丈夫です。

瀧賀) そうか？必要だったらいつでも呼んでくれ。

アルラウネ) はい！

トコ) また夫婦漫才？

瀧賀) 何かデジャヴ？

草むしり中に有ったような：

アルラウネ) 夫婦みたいですから、マスター。

瀧賀) 前とは違う反応だな。

前は恥ずかしがって顔を真っ赤にしていたくせに：

トコ) さて、明日アテナを連れてくるんでしょう？もし心が碎けそうになったらこの封筒を開けてね。

全ておみとうしか、この人には叶わないな、いろんな意味で。

瀧賀) この中には何が入っているんですか？

トコ) 後のお楽しみよ♪

瀧賀) :

すげえ気になる。

そして翌日。

瀧賀) えーと、ゲームの内容は、この道を通つ切つてアテナを連れてくるんだよな。

ロズエル) これが檻の鍵だ、受けとれ。

瀧賀) さて：じゃあ行ってくる！

ロズエル) ああ、行ってこい。

それから十分後

瀧賀) ゼーハーゼーバーゼー…

スタミナ皆無の俺には物凄くキツかった。

瀧賀) しかも途中からメタドラ系が落ちてくるし…あー…こっちの世界で暮らすのも有りかな…そういえば、この封筒の中身は…!!?

なんと盗撮された俺の写真(入浴時)と危ないアングルのコラ画像。

瀧賀) あの…野郎…マジ許さん!!

怒りと言うパワーで起動する。

一時間後。

アテナ) 暇ですねえ…あれ? 鍵が開いてますね、取り合えず暇なん  
で外をさんぽでもしましよかね?

何で鍵が開いているのかに疑問を持ち、そこら辺を探索する。

アテナ) ふあ…おっと、はしたない…ん? あれは…

瀧賀) うおおおらあああああ!

アテナ) 瀧賀さん! もしかして私を助けに…

瀧賀) こおおおのおおお盗撮犯がああああ!!!

アテナ) ウゴフツ!

凄いですピードでボデイタツクルを食らった。

瀧賀) うっ…物凄く吐きそう…

アテナ) 腰が…

両者ノックアウト。

瀧賀) そんなわけで、お前を連れ戻しに来たって訳だ。

頭にゴンケツを食らわせ、正座させてから説明を行った。

アテナ) なるほど、帰るためですか…お母さんそんな事許しません

よ！

瀧賀) 誰が母さんだ。

アテナ) いたっー！

また頭にゴンケツをうちかます。

瀧賀) さつさと引きずって行こう、もう面倒くさい。

アテナ) 痛い痛い！自分で歩きます！

アテナは立ち上がると痔になってしまっただの服が汚れてしまっただのブツブツ文句を言っている。

アテナ) ま、ここで貴方を襲ってキスを奪うのも一興…

瀧賀) 悪い、アルラウネに捧げたわ。

アテナ) な、ナンダッテー！

瀧賀) 結婚式場で。

アテナ) ぐほあ…

瀧賀) 永遠の愛を誓いました。

アテナ) …

瀧賀) と言う演技をした。

アテナ) …

瀧賀) アテナ？

アテナ) …

瀧賀) 気絶している…仕方ない、お前のコレクションを燃やそう。

アテナ) 待って！それは私の1、2を争うシリーズ…

瀧賀) 起きてたじゃねえか。

アテナ) …しまった！私としたことが…

瀧賀) さつさと行くか。

アテナ) うう…絶対に目覚めのキスをしてくれるとおもって居たのに…

瀧賀) アホらし…ん？

あつちに何か凄いオーラを纏ったドラゴンが…

矢弥) ふっふーん、ラスボスは私っすよ！先輩！

瀧賀) お前か…何に釣られたんだ。

矢弥) べ、別に「三日間以内瀧賀君を占領できる券」をトーコさん

に渡された訳じゃ無いですよ！

瀧賀) てめえこの野郎！

矢弥) アテナさん、一日半分けるので手を組みませんか？

アテナ) ……！

瀧賀) アテナ？

アテナ) すみません瀧賀さん、私寝返ります！

瀧賀) てめえもか！

揃いも揃ってアホばっかだった。

アテナ) さあ、覚悟してください!!

駄目かと思つた瞬間、上から謎の影が落ちてくる。

???) ……ゼロ・ブラスト。

アテナ/矢弥) え？

閃光が二人を吹き飛ばす。

???) ……ふん。

瀧賀) え？

俺、アテナ、矢弥は入り口付近まで飛ばされた、あの人は誰なのだろう？

アテナ) うーん…

瀧賀) 取り合えずこれで…ミッションコンプリート！

やっと終わった…

ゼウス) はっはっは、ようやりおるわい。

瀧賀) さあ、約束とうり元の世界に返してもらおうぞ。

ゼウス) わかつとるわ、ほれ、この扉をくぐれば行けるぞい。

瀧賀) ……

やっと帰れるのか…嬉しいようで、物凄く悲しい…

アテナ) 瀧賀さん…

瀧賀) ……じゃあな守護神アテナ。

アテナ) ……！

そして俺は、元の世界に帰れた。

元の世界に戻ったら、いろんな事が起きていた。

俺は誘拐犯に連れ去られて、その発見者がウリエルだったっていう事だ、しかもウリエルは学校の生徒と言うオプション付きで、全能神恐るべし。

そして一年後、俺は卒業シーズンを迎えていた。

瀧賀) あれから一年くらいか：以外と短いものだな。

ロズエル) ああ、他の天使はどうしているかな：

瀧賀) 元気でやっているだろ。

夕飯を食べながら会話をする、ちなみにしようが焼きだ。

ロズエル) む、少し貰って良いか？

瀧賀) ご飯も食べよ、ほら。

ウリエル) ふふ、米粒つけてどこに行くんだ？

瀧賀) :ちよつとそこまで？

ロズエル) ぷふつ、疑問を疑問で返すな。

瀧賀) 悪い悪い。

だが、あっちに行きたいと言う自分も居る。

瀧賀) :ごちそうさまでした、食器は俺が洗っておくからシンクに置いておけよ。

ロズエル) 分かった、何処に行くんだ？

瀧賀) 牛乳が切れていたから買い出しに。

ロズエル) そうか、気を付けろよ。

瀧賀) ハイハイ。

コンビニの帰りに、変な影を見つけた。

瀧賀) ?

幽霊? 阿呆か、そんなものは居ないは…

瀧賀) ムグツ!

いきなり後ろから口にガムテープ、腕に荒縄、そしてスマキにされた。

瀧賀) ムググーツ!

影は…四人くらいだな…誘拐犯か?

ロズエル) むー!

瀧賀) ムグググ!? (ロズエル!!?)

ロズエル) !!?

瀧賀) ムグググ! (どしてここに?!)

ロズエル) むぐぐぐ! (わからん!!)

瀧賀) ムグググ? (なんだって?)

訳のわからない会話をしていると俺たちは担がれた。

瀧賀) !!?

去年、こんなような光景をみたことがある。

こんなに賑やかではなかったけど、こんな満月の日に、緑色の髪、白い服装、光っている槍、そして。

強く、優しく揺るがない、にやけた紅い目だ。

瀧賀) 台無しだこの野郎!

アテナ) ひでぶっ!

そんなこんなで、またあつちの世界に拉致られた、まだあつちの世界にはやることがあるらしい、属性がないことも、最後に助けていただいた人の事も、これから深く関わってくるだろう。



神様たちとのパズドラ生活が、まだ続くらしい。

## 新しき元通り

再びアテナに拉致され目覚めた時、いつもどりの部屋で寝ていた。

瀧賀) ここは…

トーコ) あら、やっと起きていたのね。

瀧賀) トーコさん…

トーコ) 久しぶり、一年間待っていたわよ。

瀧賀) あはは…すみません。

トーコ) ま、拉致のために大分準備はかかったからギリギリだったのよね。

瀧賀) そんなにつ!!?

丸一年費やす位の拉致の準備って…

トーコ) プランは二百通り作っておいたのよ。

瀧賀) どんだけっ!!?

そりゃ丸一年かかるわけだわ…

トーコ) そんな瀧賀君にプレゼント、はいこれ。

瀧賀) またチケットの類いですね、アテナから？

トーコ) そんなわけないでしょ？すぐそこにスタンバって居るんだし。

瀧賀) …

ふとベッドの下を見てみると…

アテナ) お早う御座います瀧賀さん。

瀧賀) 呪怨かああっ！

アテナ) あべしっ！

トーコ) 相変わらず仲良いわねえ…

アテナ) はい、ラブラブです！

瀧賀) 氏ね。

近くに有ったモップで押し込んだ。

アテナ) ちよ、酷いですから、私これでも神様ですよ!!?

瀧賀) うるせえ呪怨、属性変えやがれ。

アテナ) 何に？

瀧賀) 闇×闇に。

アテナ) なるほど、瀧賀さんは黒髪派と…今すぐ染色してきます!!

瀧賀) ここにアホがいる。

トーコ) まあ仕方ないわ、アルラウネちゃん達だって直ぐにあなたに飛び付きたいらしいし。

瀧賀) そうなのか？

トーコ) ええ、ギガンテスグレートも包容したいって。

瀧賀) 誰だそいつ!!?

トーコ) 冗談よ。

瀧賀) ほっ…

トーコ) で、もし飛び付いて良いつて聞いたらどうする？

瀧賀) まあ…いいんじゃないかな？

トーコ) 聞いたわね皆！入ってらっしゃい！

アルラウネ) マスターっ！

瀧賀) のわっ！

女帝エキドナ) ダーリンっ！

瀧賀) ぐほっ。

みぞおちに入ったぞ…

精霊タナトス) っ…

瀧賀) ひっ…

顔の横に鎌が突き刺さった、おっかねえ…

アスタロト) お兄ちゃん。

瀧賀) あ…

優しくソフトタッチで抱きついてきた、これなら有りで。

ギガンテスG) グレエエイト!!

瀧賀) 誰だテメエ！

ギガンテスG) グホア

つい蹴りあげてしまった。

トーコ) ナイスキック。

瀧賀) 誰ですかこいつ。

トーコ) 私の火属性パーティーの変換役、ギガンテスグレートよ。  
ギガンテスG) グレエエイト!!

決めポーズを取っている。

瀧賀) : エキドナ、イメチェンしたのか?

女帝エキドナ) トーコさんから素材を貰って進化したの、衣装が露出多目かなーって。

アルラウネ) :

瀧賀) おーい、アルラウネー?

《返事がない、ただの屍のようだ》

アルラウネ) 死んでません!!

瀧賀) いや、顔は死人そのものだったぞ。

アルラウネ) すみません : マスターもああいうの好きかなーって :

瀧賀) うーん : アルラウネは着たいのか?

アルラウネ) い、いや、もしマスターが好きなら仕方ないかなーって :  
て :

瀧賀) そのままで良いと思うぞ。

アルラウネ) 本当ですか?

瀧賀) ああ、アルラウネは進化しないの?

アルラウネ) マスターと一緒に強くなって行きたいなーと思ってこのままにしました。

瀧賀) ええ子や :

我が子のような感じだな :

アテナ) あのー、私空気になってませんか?

瀧賀) まだいたのか?

アテナ) その封筒、多分ソニアグラタンから :

瀧賀) グラタン?

アテナ) 間違えました、ソニア・グランです。

瀧賀) 良し、氏ね。

アテナ) 止めてください! 私の服でそこら辺を拭かないで下さい!!

瀧賀) : 洗濯しようか?

アテナ) 今すぐ脱ぎます。

瀧賀) アホか。

アスタロト) お兄ちゃん、私も脱ごうか？

瀧賀) アホが伝染した：アホの発生源を潰せば大丈夫かな？

アテナ) ひどっ：

ヴェルダンデイ) ：さつきからご飯準備出来てるんだけど？

瀧賀) 母さんごめん。

ヴェルダンデイ) 誰が母さんですか！

ウルド) ヴエル、その名義、良い値で買うよ。

ヴェルダンデイ) ：鼻血を拭きなさい。

瀧賀) さて、じゃあ朝食を食べるか。

ヴェルの朝食は久しぶりだからな：味わって食べないと。

瀧賀) ：ヴェルはすくにでも嫁に行けるような気がするんだよな：

ヴェルダンデイ) っ！

ウルド) たしかに料理は上手いし家事は完璧、教師としてもパーフェクトね。

ヴェルダンデイ) ゴホッ：いきなり何よ。

瀧賀) ヴエルに彼氏は居るのかなーって。

ヴェルダンデイ) ：居ないわ。

ウルド) 実は昔合コンで：

ヴェルダンデイ) それ以上言うと頭が飛ぶわよ：

ウルド) はいはい、ごめんなさいね。

瀧賀) はは：

スクルド) 瀧賀さん、おかわりどうですか？

瀧賀) あ、よろしく頼む。

スクルド) はい、よつと：

瀧賀) ：

ふとチケットを見てしまう、ソニアグラン：どんな人なんだろ：

ロズエル) 瀧賀、居るか？

瀧賀) ロズエル？どうした？

ロズエル) 森の中に人が迷い混んでいるらしい、悪いが手伝ってくれ。

瀧賀) せめてあと米一杯食わせてくれ。

ロズエル) むう：わかった、それくらい待とう。  
そして五分後。

瀧賀) ごちそうさまでした、さて、行くか。

女帝エキドナ) 私も行くわ。

アルラウネ) はい、行きましょう。

トーコ) 二人ともご飯残ってるわよ？

アルラウネ) :行つてらっしゃい、マスター。

女帝エキドナ) 気を付けてね。

瀧賀) ああ、行つてくる。

ロズエル) しつかり捕まってるよ。

瀧賀) ああ。

ロズエル) じゃあ失礼する!!

トーコ) :元気があつて良いわねえ...

森に到着後、早速人を見つけた。

瀧賀) あれはあつちの世界の人間か？

ロズエル) そうらしいな、保護しよう。

その時、回りが少し揺らいだ。

ロズエル) む：回りに少し敵が居るらしいな...片付けるか。

瀧賀) ああ、パネル展開!

ロズエル) :行くぞ!

瀧賀) 火6×1、光3×1!

ロズエル) はああああー!やあつ!

ロズエルのLSを発動させたところで一時的に本気が発揮される。

瀧賀) :ほぼ一掃か:

改めて大天使の力はすごいと思う。

ロズエル) さて、なあ、ちよつと良いか?

???) :何ですか?

ロズエル) 少し事情を聞きたい、ご同行願えるか?

警察かこいつは。

???) :良いでしょう、どこへでも連れて行つて下さいまし。

と言うか古典的なお嬢様だな、面倒くさくなる前に退散するか。

瀧賀) ロズエル、ちよつと探索してから帰るって言つといて。

ロズエル) む、わかった、任せておけ。

ロズエルが飛び去った事を確認し、移動を開始する。

瀧賀) んで、このチケツトはソニア・グランつていう奴が送ってきたのか：あ、手が滑った：え？

落とした瞬間、床に中くらいの魔方陣が現れ、落とし穴のように落ちて行った。

瀧賀) つつつ：ここはどこだ？雲の上か？

???) オマチシテオリマシタ、瀧賀サマ。

瀧賀) : あなたは？

青ソニア) トリアエズ青ソニアト、オヨビクダサイ。

瀧賀) わかったけど：ここは？

青ソニア) ソノセツメイハコレカラ緑ソニアニセツメイシテモライマス。

おもいつきりかたことだなあとおもう。

青ソニア) 緑ソニア、セツメイヲタノミマス！

緑ソニア) 分かりました、取り合えず見張りを頼みます。

青ソニア) リヨウカイデス！

瀧賀) : 一つ聞いていいか？

緑ソニア) 何ですか？

瀧賀) 何で床に穴が開いたんだ？

緑ソニア) 普通にそこら辺の木にでも付けければそこから入れますよ。

瀧賀) まじかー！

すげえ恥ずかしい。

緑ソニア) この世界の説明をします、ここは真龍界と呼び、私たちが龍喚士の住みかです。

瀧賀) ほへー……

緑ソニア) 取り合えず移動しましょう。

瀧賀) あっ、はい。

言われた通りに後ろを付いていく。

緑ソニア) さて、では龍喚士の力を少し見せます、異界召龍陣、木暗!

ポント、グリーンドラコンが召喚された。

瀧賀) ……これだけ?

緑ソニア) ……

緑ソニアがいじけてしまっているからこの先にどう進めば良いのか……

瀧賀) どうしたものか……

???) 何をしているのだ?

瀧賀) あっ……

一年前に助けてもらったあの人が、たしか名前はソニア・グラ  
ンだったな。

緑ソニア) ……

ソニグラふむ、放置しとくか。

瀧賀) な……

ソニグラ) ま、大丈夫じゃろ。

瀧賀) えと……用件は?

ソニグラ) 主が「あの人の生まれ変わり」かどうか試すためじゃな。

瀧賀) あの人?

ソニグラ) ……後で話す、赤ソニア。

赤ソニア) はい。

いつのまにか後ろに赤ソニアが居た。

ソニグラ) こいつには『ワングレン』と言う双子龍の片割れを呼び出す力を持っている、お主が力を貸せば余裕で召喚できる力が有るのか……試してみよ。



瀧賀)：(面倒くさ)

赤ソニア) よろしくお願いします。

深々と頭を下げる赤ソニアを見ているとさすがに断り辛くなった。

瀧賀)：仕方ない、普通の人間に何が出来るのか分からないがやるだけやってみるよ、どうしたら良い？

ソニグラ) パネルを展開するだけでいい、自動的に力が繋がる…

瀧賀) よっし…行くぞ、パネル展開！

絶世赤ソニア)！、異界召龍陣！火閻！

ワングレン) ヴオオオオ！

ソニグラ)：やはりな、瀧賀っ！

ものすごい形相でこっちに来る

瀧賀) ひっ…ゴーメンナサーイ！

ソニグラ) ま、まてっ！

瀧賀) アテナーッ！

キラん、と空が少し光った瞬間、流星の如くアテナが落ちてきた。

アテナ)：お客さん、どちらまで？

瀧賀) お前はタクシーの運ちゃんか。

アテナ) じゃ、飛びますよ。

瀧賀) 慣れる。

アテナ) それっ！

そして、上空多分7000メートルくらいから垂直落下、一番早いスピードだった。

ソニグラ)：逃げられたか。

赤ソニア)：嬉しそうですね。

ソニグラ) そうじゃな…退屈はしそうにないわ。

カカツ、と軽く笑うと少しだけうつむく。

ソニグラ)：約束は果たすぞ、滝。

上を見上げ、軽く眩くと、いつもの定位置に座り込んだ。

## 休息と安堵↓急速と対戦

ヘルメス) ふー、良いお湯だね。

ヘルメス、オーデイン達と旅館に来ていた、何でこんなことになったんだろ？

事のはったんはトーコさんが知り合いの2つの旅館経営者から招待を貰ってきた、片方は女性専用、もう片方は普通の旅館。

もちろん女性専用の方にアテナやうちのパーティーも行った。

呂布) まあ、たまの休息は必要だ。

呂布は焼酎を呑みながらゆっくり休んでいる。

瀧賀) 疲れる原因はあっちに行つたし、羽を伸ばせる…

オーデイン) 最近腰痛が酷かったからな…仕事のし過ぎだ。

瀧賀) 湿布要るか？一応準備をしてきたからいろいろあるぞ。

アン○ルツとかバン○リンとか。

オーデイン) 助かる。

その頃女性陣では。

アテナ) …

トーコ) いつまでいじけてんの、これが二泊3日すんのよ？

アテナ) ごはあ…ワタシハコノセカイニゼツボウシタ。

アルラウネ) あはは…

トーコ) ま、あっちには男しか居ないしなんでもないでしょ。

アテナ) それがせめてもの救いです…

トーコ) ホモおになったりして。

アテナ) それはそれで…つていかんいかん、瀧賀×ヘルメスとかか  
んがえてませんよー。

女帝エキドナ) 本音丸だしよね。

アルラウネ) …

トーコ) アルラウネちゃんも考えてないでねー。

アルラウネ) …!

トーコ) さて、あっちはあっちで面白い展開になりそ…ふふっ。

呂布) 小僧、暇だから訓練の相手をしてやる。

瀧賀) ほえ？

風呂上がりで何か言ってきた。

呂布) 貴様は弱い、情弱だ、だからこそ鍛えてやる。

瀧賀) それは仕方ないような：

呂布) つべこべ言わず付いてこい。

呂布に言われるまま庭に連れて来られた。

呂布) 良いか小僧、戦う時に必要なのは武器種類ではない。

瀧賀) え？

呂布) 必要なのは体術だ、体術と武器を組み合わせると無双乱舞になる。

瀧賀) と言うことは：

呂布) 無論、素手でも大男を投げ飛ばす事が出来る、対応しきれないときは自分の力でどうにかするしかない、わかったか？

瀧賀) でもどうすりや良いのか分からないんだよなあ：

呂布) よし、取り合えずかかってこい。

瀧賀) え?!

フルボッコ確定じゃないですかやだー。

呂布) なに、手加減はしてやる。

瀧賀) じゃあ：いくぞ！

普通に殴りかかる、威力は0に近い。

呂布) 自分の力に頼るな、相手の攻撃を受け流すように懐に入れ！

瀧賀) え！ちよっ：

顔面に当たった。

瀧賀) きゆう：

ヘルメス) 大丈夫ー？

瀧賀) な、なんとか：

呂布) まだへばるには早いぞ

瀧賀) 分かった、行くぞ！

それから一時間、SFT(スーパーフルボッコタイム)だった、だ

けど何かを掴むような感覚がした。

瀧賀) ゼーハーゼーハー…

呂布) 体力が無さすぎるな。

瀧賀) そんなこと言ったって…

???) お兄ちゃん?

その時、後ろから不意に声を掛けられた、その主は…

瀧賀) アスタロト?!

天真アスタロト) えへへ、やっぱりお兄ちゃんだった、なにしてんの?

瀧賀) いや…ちよつと稽古をつけてもらってた。

天真アスタロト) そうなんだ、いまヘラとベルゼブブ、あとルシファーと旅行に来ていたんだ。

瀧賀) あいつらもか…仕事しろ。

神王妃ヘラ) 余計なお世話よ。

瀧賀) あ、居たんだ。

神王妃ヘラ) ぐっ…なにその軽いスルー、一年ぶりなんだけど!?

瀧賀) ところでルシファーとベルゼブブは?

神王妃ヘラ) 我慢大会してるらしいわ、ほんとアホらしい。

瀧賀) はは…あれ? あいつらは…ハク、レイランさん!

ハク) あ…瀧賀、久しぶり…

レイラン) お久しぶりです、瀧賀さん。

瀧賀) 少し身長縮んだ?

ハク) 瀧賀が伸びただけ…

瀧賀) ははっ、悪い悪い。

アスタロト) …

むすつとした顔でこっちに近づいてくる。

アスタロト) うちのお兄ちゃんになんか用?

ハク) …ただの挨拶よ。

アスタロト) …本当に?

ハク) 本当だって…

アスタロト) …

瀧賀) アスタロト、ハクを疑い過ぎじゃないか？

アスタロト) そりゃあそうだよ！だってライバルだもん！

瀧賀) 何の？

アスタロト) …た…

ベルゼブブ) だーっ！もう埒があかねえ！こうなったらガチでバトルだ！

ルシファー) 望むところだ！

ゾット、隣のアスタロトから凄い殺気を感じた。

瀧賀) ア、アスタロトさん？

アスタロト) …そのバトル、俺も混ぜろよ。

瀧賀) どのバトルマンガの主人公だ。

ベルゼブブ) い、いや、今日は大人しくオセロで勝負しようぜ？な、ルシファー？

ルシファー) そ、そうだな、チェスでも良いな。

明らかに二人の勝負を持ちかけている。

アスタロト) …そ、大人しくしててね。

瀧賀) …そうだ、そろそろ下町探索に行こうかな？

旅館の少し下には町が有り、京都を連想するような町が有り、お土産が豊富だった。

ヘルメス) そだね、はやめにお土産買って後を楽しめた方が良いかな？

瀧賀) じゃあ、さっそく…

アスタロト) 私も付いていくよ、ちょうどコシユマルにお土産を買っていかなきやいけないし。

レイラン) それでしたら私達もカリンとメイメイ、サクヤ姉さんに買わなければいけないので。

瀧賀) オーデイン、大丈夫か？

オーデイン) 俺は構わない。

ヘルメス) 僕も良いよ？

瀧賀) じゃあ…

ハク) …

アスタロト) …

瀧賀) あれ? 二人とも?

両腕をがちりと拘束された。

オーデイン) …こっちはこっちで回るから後はよろしく頼んだ。

瀧賀) !!?

神王妃ヘラ) アスタロトちゃん、気をつけてね。

アスタロト) 大丈夫、お兄ちゃんに何かするような奴が出たら…サ  
クツと殺っちゃうから。

瀧賀) ま、満面の笑みを見せながら言うとは…流石だな。

恐ろしいわ!

瀧賀) …生きて居られるかな? 俺。

オーデイン) …無事を祈る。

ハク) じゃあ…行こう。

この二人に絡まれ、果たして生きて居られるか…

## 意識の暴走

アスタロトとハクに拉致…もといデート（強制）を初めてから10分、二人は俺の両腕をへし折るかのような力でしがみついていた。

「…お兄ちゃんが痛がつているから離したら?」

「…それならそつちだつて離すことになるよ?」

「私は良いの、妹だから。」

「ふーん、なら私は彼女だから私の方が優先されるね。」

「…お兄ちゃんは妹大好き属性だから私のルートに来るよね?」

「…ダーリン、私を選んでくれるよね?」

「…取り敢えずお前ら黙れ、俺の人生を終わらせるつもりか。」

「えー、別に良いじゃん。」

「むしろロリと結婚できるのは…レア…!」

「まじで黙つて下さいお願いします。」

つか腕が変な方向に曲がり始めているんだがこいつらは離す気無いのだろうか?

「アイス買ってやるから一回離してくれ、財布すら取り出せない。」

「…ここは停戦協定で。」

「…仕方ない。」

ようやく両腕が自由になり、刑務所から出てきたような気分だ。

「さてと、アスタロトは苺で良いか?」

「うん、別に良いよ。」

「私は…一緒が良い。」

「いい加減止めれ、つたく…。」

もうこの際シカトすることにし、メニューを見る。

「じゃあ… 黒蜜抹茶っていうのが気になるからそれにしよう、すいません、黒蜜抹茶を2つとストロベリーを1つ下さい。」

「はいニヤー!」

「…にや?」

おかしいな、目の前に猫みたいなのが居るんだけど何でアイス屋のエプロンを着ているんだ?

「あ…バステト、ここで何してるの…？」

「アルバイトだニヤ、ハクも何ニヤ？」

「デート中、その小娘は只のオマケ。」

「…喧嘩売ってんの？」

「あれ…違ったつけ？」

「…倒す。」

お互い臨戦態勢をとり距離を置く。

「お兄ちゃんに遺言が何か有るなら今の内に言っておいたら？」

「あなたこそ…殺される前に懺悔したら？」

正に一触即発…止めに入ろうとしたらバステトが俺を制して二人に近づく。

「まあまあ、取り敢えず落ち着くニヤ、はいお待ちどうさまにや。」

「…ふんっ！」

二人ともバステトの手に持っていたアイスを食べ始めた。距離を更に置いてアイスを食べ始めた。

「助かった…ありがとな。」

「戦闘が始まったら周りにも被害が出ていたから当然の行動ニヤ、はい瀧賀くんの分ニヤ。」

「あれ？俺の名前教えたつけ？」

「アテナからの情報ニヤ、ずーっとキミの話をするから自然と覚えたニヤ。」

「はあ…悪いな、迷惑かけて。」

「別に良いニヤ、キミの話は面白い事ばつかだしネタが尽きないから全然オツケーニヤ。」

「そうか？それなら良かった。」

「あとたまにはアテナを誉めてあげて欲しいニヤ、ずっとキミの側から離れず、どんな些細な事でも直ぐに気付いて、ずっと笑ってられるニヤ。」

「…そうだな、たまには誉めてやる事にするか。」

あいつは黙ってれば普通に可愛いし正直俺を慕ってくれるのは嬉しい、だけど今更感がちよつと有るんだよな。



「…ちよつと二人を任せて良いか？」

「何処に行くニヤ？」

「少し一人で考えてみようかなって。」

「ニヤフフ、若い内は散々悩んだり迷ったりするが良いニヤ、それがキミの経験ニヤ。」

「…ありがとう。」

「別に感謝される必要は無いニヤ、行くならさっさと行くニヤ。」

「ああ、そうさせて貰うかな。」

「あれ？お兄ちゃんどこ行くの？」

「ちよつと気になる所が有ったからな、お前らはゆっくり休んでくれ。」

「分かった…早めに戻ってきてね。」

「ああ、じゃあ行ってくる。」

「行つてらっしゃい。」

「…スリに気を付けてね。」

「分かつてるよ。」

二人をバステトに任せて人通りの多い大通りから細い路地をゆつくり歩きながらアテナの事を考えるのであった。

一方女性陣は多少ヤバイことになっていた

「ヤバイです…瀧賀さんに会いたい…。」

生きてる希望が断られた感じがしてたまらない、今すぐにも駆けで行きたいけどトーコさんがそれを許さない。

「そんな死霊みたいな顔してもダメよ、彼にも休みを与えなきゃいつか倒れてしまうわ。」

トーコさんは私の頭をグリグリしながら頭を撫でてるが正直物凄く痛い。

「はあ…瀧賀さん…。」

「全く…仕方ないわね、さつきヘルメスから取り寄せて貰った物だけ

どあなたにあげるわ。」

「何ですか…これ？」

何やら紙袋に入っていて手の感触は真空パックされた物だった。

「あなたを最高にハイにさせれる物よ、下手な薬より効き目が凄いわ。」

「…？」

「…瀧賀くんの脱ぎたてホヤホヤのインナーを真空パックに入れたものよ。」

「フオオオオオ！」

真空パックを即座に破り捨て顔に当てる、そうすると心と体が真価を發揮させてくる。

「凄いわね、素材もないのに究極進化状態になってるわ。」

「すうううううううううう…はあああああああああ。」

「…ちよつと一人で楽しんできます。」

「そう、後処理は自分でしてね。」

「べつ…別にそういう訳じゃありませんよ！私は仮にも神様ですし…

その…いつ、行ってきます！」

「はいはい、行ってらっしゃい。」

トイレの個室に駆け込みベルトを緩める。

「…すう…はあ…瀧賀さん…。」

理性がぶっ飛びそうになるがギリギリ耐える、流石に自分の部屋ならまだしも旅館のトイレでなんて…でも、我慢が出来なくなってしまう。

「…少しだけなら…。」

意識が遠退くが人が二人ほど入って来たから出来ない、早く出ていけと思うが正直助かったと言うのもある。

「全く…わざわざ手洗いなんかに付いてこなくても良いだろう。」

「エヘヘ、別に良いじゃん。」

この声はロズエルさんとファミエルさん、この人たちもここに来たんだですね。

「そう言えばさ、ロズエルの代わりに入って来た天使の子なんだけど

さ、あのメタトロンさんの妹らしいんだよね。」

「そうか、なら安心だな。」

「…そう言えば瀧賀くんと一緒に生活してたんだよね？」

「まあ…そうだな、私はあっちの世界の情報に疎かったからな。」

「ふーん、デートとかした？」

「ああ、水族館に…！」

「あれ？顔真っ赤になってるよ？…何か有ったんだ。」

「後ろから抱きしめられて好きだと言われた…。」

「それで？」

「…断ってしまった、瀧賀を愛してるのに…何であのとき愛してると言えなかったのだろうか…。」

「あー…結局ショックだったと思うよ？瀧賀くんだって心を決めたのにそれなのに断ったなんて…彼はそういう所で真面目だから誰とも付き合ったりしなくなるかもね。」

「…ちゃんと謝ろう、そして私も心を決めて気持ちを伝えなくてはいけない。」

「うんうん、それが良いと思うよ。」

「じゃあ先に戻ってるからな。」

「どうやらロズエルさんは行ったようですが…瀧賀さんの好きな人は…。」

「アテナさんと矢弥さん、出てきたらどうですか？」

「…気付いてたのですか？」

「私気配察知だけは得意なので。」

「それよりも！センパイの好きな人ってロズエルさんなんですか!？」

「1年と言う年月は長いからね、そりやお互い好きになるよ。」

「…私も、1年一緒に居ればお互い好きになれましたかね…。」

「それは私には分からないけど多分違うと思う。」

「じゃあどうしたら…っ!。」

「1キ口先からとてつもない力が巻き起きている…。」

「これはヤバイっすね…場所的にもセンパイが泊まってる旅館近くの町っす。」

「となると…瀧賀さんが狙われているかもしれない！急ぎましよう！」

「行つてどうするの？」

「え？」

「もしそれが…《瀧賀くん自身》だったらどうする？」

「何を…。」

「本人は気付いてないと思うけど、彼自信には何かとてつもない物が存在してる、世界その物をまとめて飲み込むレベルの物がね。」

「それが…何だと言うんです、私はどんな存在でも…瀧賀さんの近くに居ます、行きましよう。」

「そうつすね、もし何か有ったらぶっ飛ばして何とかするつす。」

「やれやれ…じゃあこれを君たちに渡しとこう。」

「これは…闇の宝玉!? どうして貴女が…。」

「細かいことは気にしない、あ、ちゃんと洗って返してね、私意外と潔癖症だから。」

「…ここトイレですよ？」

「うん、正直今すぐ出たい。」

「ですよね…では矢弥さん、行きましよう。」

「了解つす！」

瀧賀さんが何者だつて構わない、側に居るつて心の底から決めたのですから。

少し時は遡り、瀧賀視点に移る。

「あれ?…ここは…。」

確か裏通りを探索していたはずが境内に迷い込んでしまったようだ。

「神社か、前はよく通っていたな…。」

巫栖が少しでも良くなるように毎日お参りしてから会いに行つてたんだよな…。

「少しお参りしていくか。」

小銭を投げ込み鈴を鳴らす、そして2回手を叩き祈る。

「…これでよし。」

踵を帰しアスタロト達の所に帰ろうと思った時にとつともない頭痛と吐き気、体中に痺れが起きる。

「ぐ…うえ…。」

体の中から何か込み上げてくる、体の自由が効かなくなつてつてきた。

「あ…かはっ…。」

呼吸をする事すら出来なくなつてしまふ、俺は…死ぬのか…。

「いや…死んで…たまるかっ…!」

這つてでも体を動かすと、声が聞こえた。

「何…だ…?」

「…お前には調律の龍契士になつてもらふ、覚悟しろ。」

男の手が俺の首を掴み呪文らしきものを唱え、入り込んでくる。

「すまないがお前には…世界を救つて貰わなければいけない…許せ。」

最後に聞こえたのは、その一言だった。

アポカリプスの背中に乗り到着したところは古風な場所だった。

「ここは…境内ですね。」

「そうみたいっす…アテナさん!」

「え?」

巨大なエネルギー砲が目の前を掠める、矢弥さんの注意が無ければ直撃していた。

「あれは…アテナさん！何か変わってますけどあれセンパイっす！」  
「そんな…。」

「ヴウ…ヴウ…ヴウ…！」

「こちらに狙いを定めて一直線に飛んできた。」

「くっ！仕方ありません…応戦します！」

「アポカリプス！死なない程度に全力を尽くして…。」

「ヴウ…ヴウ…！」

矢弥さんが指示を出したとたん狙いはアポカリプスの方へ行き、放たれたエネルギー砲がアポカリプスの頭を直撃した。

「一撃で…ゼログ！出番っす！」

「…出来ぬ。」

「何でっ！」

「奴は我らが神竜を食らう龍契士、かすり傷すらも満足につけられん。」

「じゃあどうしたら…。」

「俺達に任せろ！」

突然空から声がしたかと思うと変な二人組が降りてきた。

「貴殿方は？」

「俺はばあちや…グラン様の命令でここに来たガディウスっ！龍契士だ、こっちは…。」

「ティフォンだ、それより…ずいぶんと禍々しい姿だな。」

「ヴウ…アウ…！」

「させるかっ…！」

とてつもない速さで近づき斬撃を浴びせ、戦闘不能にまで陥らせた。

「ちよっ…センパイは大丈夫何すか!？」

「安心しろ、息の根は止めてない。」

「兄貴はそういうのが上手いからなあ…兄貴！まだ意識が有るぞ！」

「何!？」

「ヴウ…ヴウ…！」

腕についてる大筒に光が灯りあのエネルギー砲が至近距離で放た

れようとしていた。

「ちっ…！つ貸しだぜ、迸れ！サンライズ…ゾーン！」

一瞬だけ閃光が走り双刃が瀧賀さんを切り裂いていた、動きは止まりだらんと力なく倒れこんだ。

「やべっ…さっきの感覚は確実に仕留めた時のやつだ。」

「いや、こいつは生きています…見ろ、もう傷が治っている。」

「マジか…取り敢えず連れてくか。」

「何処へ？」

「…お前らには関係ない、力無き神と脆弱な盤面使いは大人しくしていろ。」

「っ…！」

「ちよ…兄貴、言い方悪いぞ。」

「本当の事だろ、さっさと行くぞ。」

「後で帰しにくるから気長に待っていてくれ、じゃな！」

赤い方が瀧賀さんを担ぎ上げ空に消えていった。

「瀧賀さん…。」

「取り敢えずトーコさんに連絡しましょう、話はそれからツス。」

「この大馬鹿！何でそのまま連れていかせた！」

「…あの二人は私達では歯が立たない位強い相手でした、瀧賀さんが人質に取られている状態で戦うのは…。」

「言い訳無用！項垂れている内に取り押さえれば良かったでしょうに…。」

「トーコさんは…何か知っているんすか。」

「…別に、そもそも知っていても絶対に教えたりなんかしないわ。」

「え…何処に行くんですか？」

「ちよつと瀧賀君を引き取りに行つてくる、馬車を借りるわよ。」

「待つてください、私も…。」

「頭を冷やして待つてなさい、一時間で戻るわ。」

「…分かりました、瀧賀さんをお願いします。」

「最初からそうしてれば良いのよ、じゃあ行つてくるわね。」

トコさんは急ぎ足で去つていった、取り敢えずは私に出来ることをしよう。

「矢弥さん、男性陣に連絡を入れておきましょう。」

「わかつたツス。」

どうか、少し乱暴で、とても優しい…元の瀧賀さんでありますように…。